



SII RP JavaPOS ドライバー
アプリケーションプログラマーズガイド

U00135793102

セイコーインスツル株式会社

U00135793100 2015 年 12 月

U00135793101 2022 年 3 月

U00135793102 2026 年 7 月

©セイコーインスツル株式会社 2015-2026

無断転載を禁じます。

Java は、Oracle Corporation またはその関連会社の商標もしくは登録商標です。

Linux®は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

SUSE は、米国およびその他の国における SUSE LLC の商標または登録商標です。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。

本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以下、SII）がプリンタ及びプリンタに接続されるドロワに提供するSII RP JavaPOS ドライバー（以下、本ソフトウェア）の仕様、機能、操作方法について説明します。

本書は原則、以下の条件に基づき記載します。

- マウス及びキーボードによる操作方法

オペレーティングシステムの略称について

本書で使用されているオペレーティングシステムの略称について以下に記載します。

・ Linux® ⇒ Linux

用語について

用語	内容
UPOS APG V1.13	「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.13 APPENDIX B Java for Retail POS」を指します。
POSPrinter	POSPrinterデバイスクラスのJavaPOSドライバーを指します。 制御対象デバイスはプリンタです。
CashDrawer	CashDrawerデバイスクラスのJavaPOSドライバーを指します。 制御対象デバイスはプリンタに接続されたドロワです。
プリンタ	プリンタ本体（プリンタデバイス）を指します。
ドロワ	プリンタに接続されたドロワ本体（ドロワデバイス）を指します。
JCL	「Java Configuration Loader」を指します。
JER	「JavaPOS Entry Registry」を指します。
JVM	「Java Virtual Machine」を指します。
OS	オペレーティングシステムを指します。
初期値	使用可能条件を満たした直後の値を指します。
改行量	本ソフトウェアにおける改行量とは、印刷行の高さ（印字行の高さと行間スペースの合計値）です。

目次

1章	概要	1-1
1.1	概要	1-1
1.1.1	構造図	1-1
1.2	制限事項	1-2
1.2.1	POSPrinter	1-2
1.2.2	CashDrawer.....	1-2
2章	動作環境	2-1
2.1	システム環境	2-1
2.2	対象モデル.....	2-1
3章	インストール	3-1
3.1	インストール	3-1
3.1.1	インストール手順.....	3-1
3.2	アンインストール	3-2
3.2.1	アンインストール手順	3-2
3.3	JavaPOS設定プログラム	3-3
3.3.1	JposEntryの項目と詳細	3-3
3.3.2	JposEntryの追加	3-11
3.3.3	JposEntryの修正	3-20
3.3.4	JposEntryの削除.....	3-21
3.3.5	ログ設定	3-22
4章	POSPrinter	4-1
4.1	一覧	4-1
4.1.1	共通プロパティ	4-1
4.1.2	専用プロパティ	4-2
4.1.3	共通メソッド	4-9
4.1.4	専用メソッド	4-9
4.1.5	イベント	4-10
4.2	印字データとエスケープシーケンス	4-11
4.2.1	指定時のみ動作するエスケープシーケンス	4-11
4.2.2	印字中に動作するエスケープシーケンス	4-13
4.2.3	印字時に動作するエスケープシーケンス	4-14
4.3	詳細	4-16
4.3.1	共通プロパティ	4-16
	CapCompareFirmwareVersion プロパティ	4-16
	CapPowerReporting プロパティ	4-16
	CapStatisticsReporting プロパティ	4-16
	CapUpdateFirmware プロパティ	4-17

	CapUpdateStatistics プロパティ	4-17
	CheckHealthText プロパティ	4-17
	Claimed プロパティ	4-18
	DeviceEnabled プロパティ R/W	4-18
	FreezeEvents プロパティ R/W	4-19
	OutputID プロパティ	4-19
	PowerNotify プロパティ R/W	4-20
	PowerState プロパティ	4-20
	State プロパティ	4-21
	DeviceControlDescription プロパティ	4-21
	DeviceControlVersion プロパティ	4-21
	DeviceServiceDescription プロパティ	4-21
	DeviceServiceVersion プロパティ	4-22
	PhysicalDeviceDescription プロパティ	4-22
	PhysicalDeviceName プロパティ	4-22
4.3.2	専用プロパティ	4-23
	AsyncMode プロパティ R/W	4-23
	CapCharacterSet プロパティ	4-23
	CapCoverSensor プロパティ	4-23
	CapMapCharacterSet プロパティ	4-24
	CapRec2Color プロパティ	4-24
	CapRecBarCode プロパティ	4-24
	CapRecBitmap プロパティ	4-25
	CapRecBold プロパティ	4-25
	CapRecCartridgeSensor プロパティ	4-25
	CapRecColor プロパティ	4-26
	CapRecDhigh プロパティ	4-26
	CapRecDwide プロパティ	4-26
	CapRecDwideDhigh プロパティ	4-27
	CapRecEmptySensor プロパティ	4-27
	CapRecItalic プロパティ	4-27
	CapRecLeft90 プロパティ	4-27
	CapRecMarkFeed プロパティ	4-28
	CapRecNearEndSensor プロパティ	4-28
	CapRecPageMode プロパティ	4-28
	CapRecPaperCut プロパティ	4-29
	CapRecPresent プロパティ	4-29
	CapRecRight90 プロパティ	4-29
	CapRecRotate180 プロパティ	4-29
	CapRecRuledLine プロパティ	4-30
	CapRecStamp プロパティ	4-30
	CapRecUnderline プロパティ	4-30
	CapTransaction プロパティ	4-31
	CartridgeNotify プロパティ R/W	4-31
	CharacterSet プロパティ R/W	4-31
	CharacterSetList プロパティ	4-32
	CoverOpen プロパティ	4-32
	ErrorLevel プロパティ	4-32

	ErrorStation プロパティ	4-33
	ErrorString プロパティ	4-33
	FlagWhenIdle プロパティ R/W	4-34
	FontTypefaceList プロパティ	4-34
	MapCharacterSet プロパティ R/W	4-35
	MapMode プロパティ R/W	4-35
	PageModeArea プロパティ	4-36
	PageModeDescriptor プロパティ	4-37
	PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W	4-37
	PageModePrintArea プロパティ R/W	4-38
	PageModePrintDirection プロパティ R/W	4-39
	PageModeStation プロパティ R/W	4-41
	PageModeVerticalPosition プロパティ R/W	4-41
	RecBarcodeRotationList プロパティ	4-42
	RecBitmapRotationList プロパティ	4-42
	RecCartridgeState プロパティ	4-42
	RecCurrentCartridge プロパティ R/W	4-43
	RecEmpty プロパティ	4-43
	RecLetterQuality プロパティ R/W	4-43
	RecLineChars プロパティ R/W	4-44
	RecLineCharsList プロパティ	4-45
	RecLineHeight プロパティ R/W	4-45
	RecLineSpacing プロパティ R/W	4-46
	RecLinesToPaperCut プロパティ	4-47
	RecLineWidth プロパティ	4-47
	RecNearEnd プロパティ	4-48
	RecSidewaysMaxChars プロパティ	4-48
	RecSidewaysMaxLines プロパティ	4-49
	RotateSpecial プロパティ R/W	4-49
4.3.3	共通メソッド	4-50
	checkHealth メソッド	4-50
	claim メソッド	4-50
	clearOutput メソッド	4-50
	close メソッド	4-51
	compareFirmwareVersion メソッド	4-51
	directIO メソッド	4-51
	open メソッド	4-53
	release メソッド	4-53
	resetStatistics メソッド	4-53
	retrieveStatistics メソッド	4-54
	updateFirmware メソッド	4-54
	updateStatistics メソッド	4-54
4.3.4	専用メソッド	4-55
	beginInsertion メソッド	4-55
	beginRemoval メソッド	4-55
	changePrintSide メソッド	4-55
	clearPrintArea メソッド	4-55
	cutPaper メソッド	4-56

	drawRuledLine メソッド	4-56
	endInsertion メソッド	4-56
	endRemoval メソッド	4-57
	markFeed メソッド	4-57
	pageModePrint メソッド	4-57
	printBarCode メソッド	4-59
	printBitmap メソッド	4-67
	printImmediate メソッド	4-69
	printMemoryBitmap メソッド	4-70
	printNormal メソッド	4-70
	printTwoNormal メソッド	4-71
	rotatePrint メソッド	4-71
	setBitmap メソッド	4-73
	setLogo メソッド	4-74
	transactionPrint メソッド	4-75
	validateData メソッド	4-76
4.3.5	イベント	4-77
	DirectIOEvent イベント	4-77
	ErrorEvent イベント	4-77
	OutputCompleteEvent イベント	4-78
	StatusUpdateEvent イベント	4-78

5章	CashDrawer	5-1
----	------------	-----

5.1	一覧	5-1
5.1.1	共通プロパティ	5-1
5.1.2	専用プロパティ	5-2
5.1.3	共通メソッド	5-2
5.1.4	専用メソッド	5-2
5.1.5	イベント	5-2
5.2	詳細	5-3
5.2.1	共通プロパティ	5-3
	CapCompareFirmwareVersion プロパティ	5-3
	CapPowerReporting プロパティ	5-3
	CapStatisticsReporting プロパティ	5-3
	CapUpdateFirmware プロパティ	5-4
	CapUpdateStatistics プロパティ	5-4
	CheckHealthText プロパティ	5-4
	Claimed プロパティ	5-5
	DeviceEnabled プロパティ R/W	5-5
	FreezeEvents プロパティ R/W	5-6
	PowerNotify プロパティ R/W	5-7
	PowerState プロパティ	5-7
	State プロパティ	5-8
	DeviceControlDescription プロパティ	5-8
	DeviceControlVersion プロパティ	5-8
	DeviceServiceDescription プロパティ	5-8
	DeviceServiceVersion プロパティ	5-9

	PhysicalDeviceDescription プロパティ	5-9
	PhysicalDeviceName プロパティ	5-9
5.2.2	専用プロパティ	5-10
	CapStatus プロパティ	5-10
	CapStatusMultiDrawerDetect プロパティ	5-10
	DrawerOpened プロパティ	5-10
5.2.3	共通メソッド	5-11
	checkHealth メソッド	5-11
	claim メソッド	5-11
	close メソッド	5-12
	compareFirmwareVersion メソッド	5-12
	directIO メソッド	5-12
	open メソッド	5-12
	release メソッド	5-12
	resetStatistics メソッド	5-13
	retrieveStatistics メソッド	5-13
	updateFirmware メソッド	5-13
	updateStatistics メソッド	5-13
5.2.4	専用メソッド	5-14
	openDrawer メソッド	5-14
	waitForDrawerClose メソッド	5-14
5.2.5	イベント	5-15
	DirectIOEvent イベント	5-15
	StatusUpdateEvent イベント	5-15

付録 A	例外	A-1
------	----	-----

A.1	PosPrinter例外エラー一覧	A-1
A.1.1	共通プロパティ	A-1
A.1.2	専用プロパティ	A-3
A.1.3	共通メソッド	A-13
A.1.4	専用メソッド	A-16
A.1.5	イベント	A-27
A.2	CashDrawer例外エラー一覧	A-29
A.2.1	共通プロパティ	A-29
A.2.2	専用プロパティ	A-30
A.2.3	共通メソッド	A-31
A.2.4	専用メソッド	A-33

付録 B	Statistics	B-1
------	------------	-----

B.1	Uposで定義されたStatistic	B-1
B.2	Manufacturerで定義されたStatistic	B-2

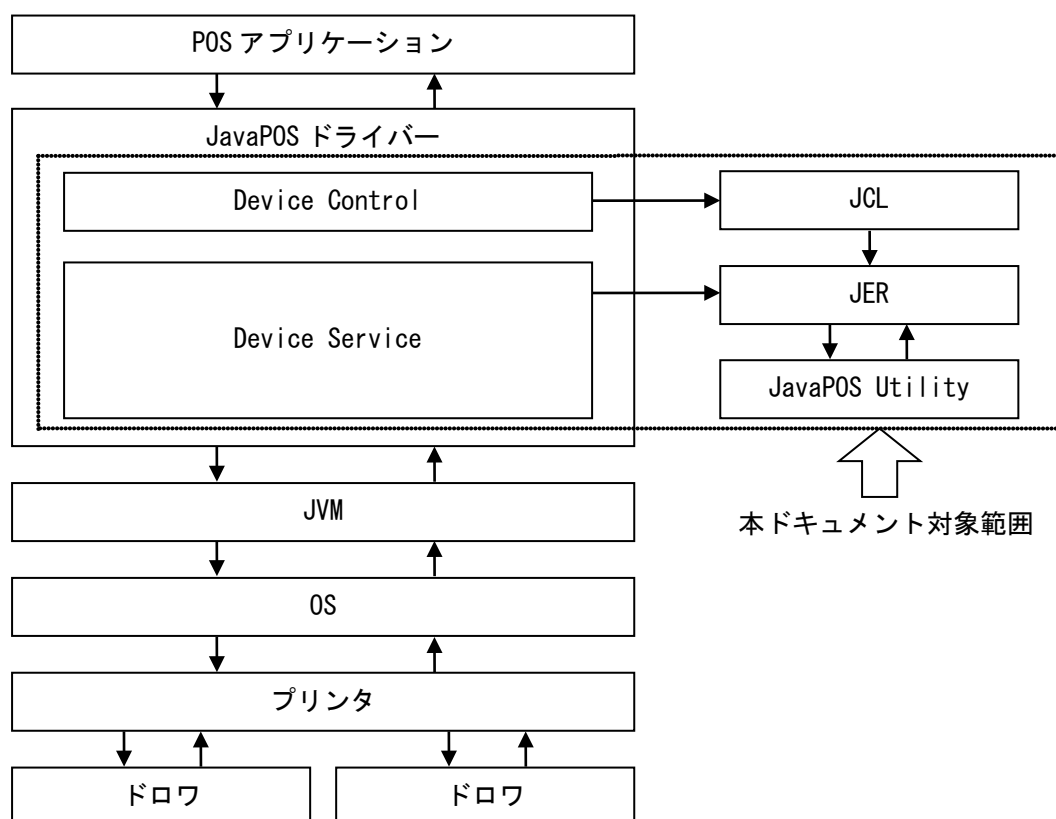
1章 概要

本ソフトウェアは、プリンタ及びプリンタに接続されたドロワを制御するJavaPOS1.13準拠のJavaPOSドライバーです。JavaPOSドライバーの利用にあたっては、「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.13 APPENDIX B Java for Retail POS」を参照してください。

1.1 構成

1.1.1 構造図

本ソフトウェアの構成と本書の対象範囲を以下に示します。



1.2 制限事項

1.2.1 POSPrinter

POSPrinterデバイスのすべてのインターフェースが提供されますが、以下の制限があります。

- (a) ジャーナル及びスリップ印刷に関するメソッド及びプロパティ設定はサポートしていません。
- (b) イタリック、カスタムカラー、網掛け印刷、カートリッジ機能はサポートしていません。
- (c) 以下のメソッドはイネーブル後にいずれも必ずJPOS_E_ILLEGALを返します。

- **beginInsertion**メソッド
- **beginRemoval**メソッド
- **changePrintSide**メソッド
- **drawRuledLine**メソッド
- **endInsertion**メソッド
- **endRemoval**メソッド
- **markFeed**メソッド
- **printTwoNormal**メソッド

- (d) **DirectIOEvent**イベント（デバイス固有イベント）はサポートしていません。
- (e) 印刷中に接続ケーブルを抜かないでください。再接続後に正常に印刷されない場合があります。

1.2.2 CashDrawer

CashDrawerデバイスのすべてのインターフェースが提供されますが、以下の制限があります。

- (a) 以下のメソッドはオープン後に必ずJPOS_E_ILLEGALを返します。

- **directIO**メソッド

- (b) **DirectIOEvent**イベント（デバイス固有イベント）はサポートしていません。

2章 動作環境

2.1 システム環境

項目	仕様
オペレーティングシステム	SUSE Linux Enterprise 11 (32ビット及び64ビット) *1
Java実行環境	Java Standard Edition 6 Update 45以降*2

*1: x86/x64環境のみサポートします。Linux ARMはサポートしていません。

*2: 64ビットJavaは、Java Standard Edition 8以降でサポートします。

2.2 対象モデル

本書での記載	型式	インターフェース
RP-D10	RP-D10-K27J1 RP-D10-W27J1	USB、シリアル、イーサネット
RP-E10	RP-E10-K3FJ1 RP-E10-W3FJ1 RP-E11-K3FJ1 RP-E11-W3FJ1	USB、シリアル、イーサネット

3章 インストール

3.1 インストール

本ソフトウェアをインストールする前に、使用するオペレーティングシステムに適したJava実行環境（JRE 6 update46以上）をインストールしてください。

以下にオペレーティングシステムに応じたインストール手順を示します。

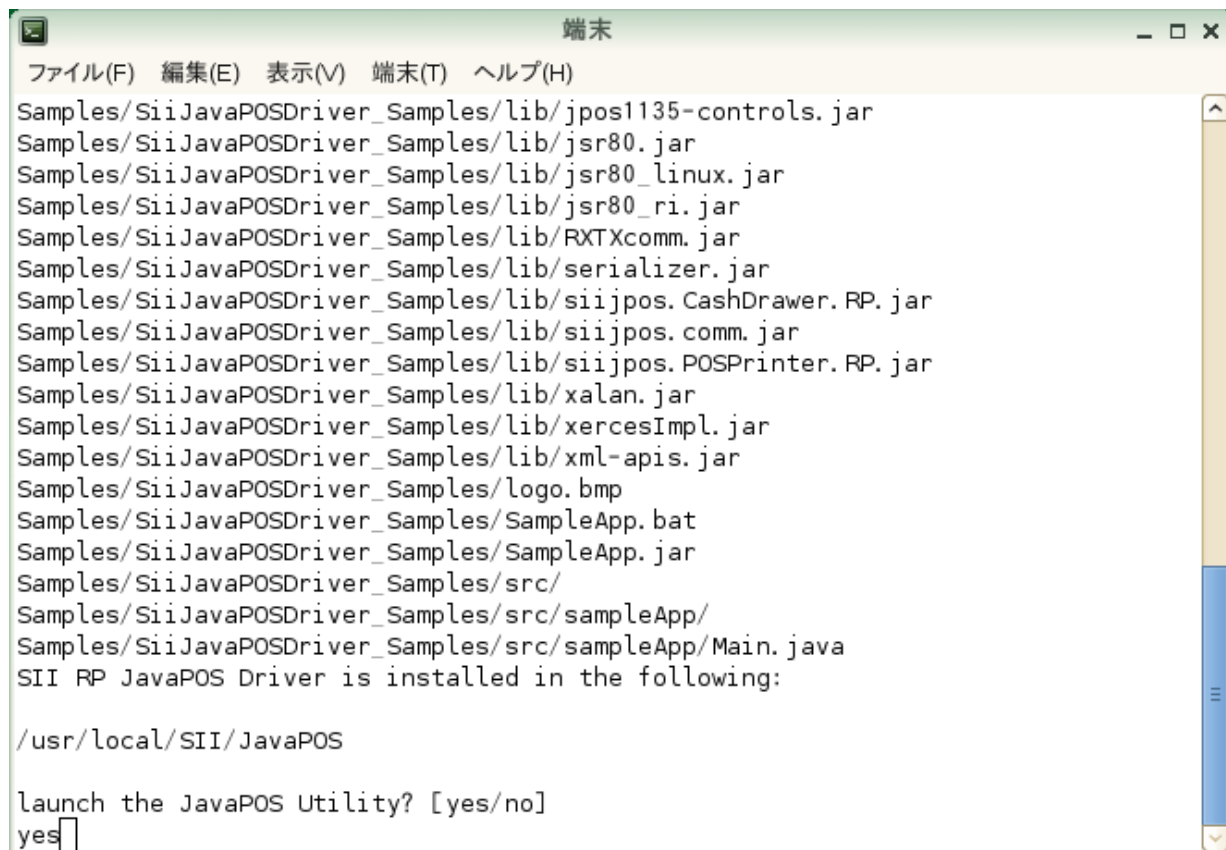
インストーラは管理者権限で実行する必要があります。

3.1.1 インストール手順

ターミナルウィンドウを開き、インストーラのあるディレクトリに移動し、
「./SII_RP_JavaPOS_1013xxx.bin」をタイプしてください。

インストールに成功すると、インストールされた場所が表示されます。

続けて「yes」とタイプするとJavaPOS Utilityが起動します。



```
端末
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 端末(T) ヘルプ(H)
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/jpos1135-controls.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/jsr80.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/jsr80_linux.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/jsr80_ri.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/RXTXcomm.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/serializer.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/siijpos.CashDrawer.RP.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/siijpos.comm.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/siijpos.POSPrinter.RP.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/xalan.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/xercesImpl.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/lib/xml-apis.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/logo.bmp
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/SampleApp.bat
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/SampleApp.jar
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/src/
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/src/sampleApp/
Samples/SiiJavaPOSDriver_Samples/src/sampleApp/Main.java
SII RP JavaPOS Driver is installed in the following:

/usr/local/SII/JavaPOS

launch the JavaPOS Utility? [yes/no]
yes
```

3.2 アンインストール

3.2.1 アンインストール手順

/usr/local/SII/JavaPOSディレクトリを削除します。

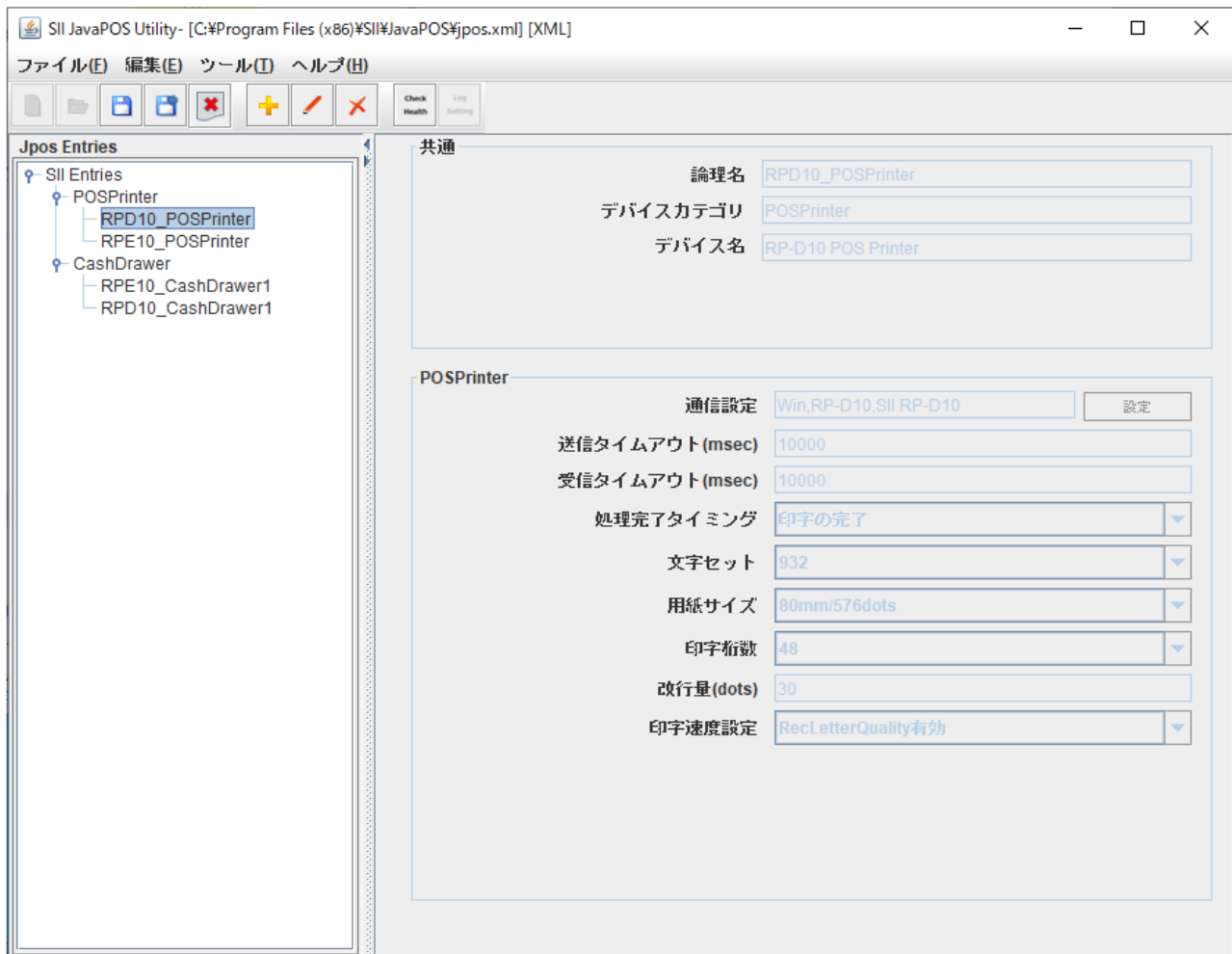
3.3 JavaPOS設定プログラム

本節では、本ソフトウェアで提供する設定プログラム(SII JavaPOS Utility)について説明します。
設定プログラムはJavaPOS Entry RegistryにJposEntryを追加/削除および項目の修正を行うことができます。

3.3.1 JposEntryの項目と詳細

(1) POSPrinter

① ユーザーインターフェース



② 項目詳細

(a) 論理名

論理名を設定します。

半角英数字を用いて任意の名称を設定できます。

同一の論理名を複数のデバイスに設定することはできません。

(b) デバイスカテゴリ

デバイスの種類を選択します。

POSPrinterデバイスを追加する場合は[POSPrinter]を選択してください。

新規追加時のみ設定可能です。修正はできません。

(c) デバイス名

使用するデバイス名を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

新規追加時のみ設定可能です。修正はできません。

ダイアログ選択値	詳細
RP-D10 POS Printer	RP-D10を使用します。
RP-E10 POS Printer	RP-E10を使用します。

(d) 通信設定

通信方法を設定します。

使用するインターフェースによって設定方法が異なります。

環境	詳細
Linux - USB	iSerialNumberを設定することができます。 iSerialNumberを使用しない場合は"0"を設定してください。"0"の場合システムに接続されたプリンタ1台を動作させることができます。
Linux - シリアル	ポート構成を設定することができます。
Linux - イーサネット	IPアドレスを設定することができます。

(e) 送信タイムアウト(msec)

送信タイムアウト時間(ミリ秒)を設定します。

3000～60000の範囲で設定可能です。

(f) 受信タイムアウト(msec)

受信タイムアウト時間(ミリ秒)を設定します。

3000～60000の範囲で設定可能です。

(g) 処理完了タイミング

メソッドの処理完了タイミングを選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
データ送信の完了	データ送信の完了をメソッドの処理完了とします。	ProcessCompletionTiming="0"
印字の完了	印字完了の確認をもってメソッドの処理完了とします。	ProcessCompletionTiming="1"

(h) 文字セット

CharacterSetプロパティの初期値を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
437	Code Page437を設定します。	DefaultCharacterSet="437"
850	Code Page850を設定します。	DefaultCharacterSet="850"
852	Code Page852を設定します。	DefaultCharacterSet="852"
858	Code Page858を設定します。	DefaultCharacterSet="858"
860	Code Page860を設定します。	DefaultCharacterSet="860"
863	Code Page863を設定します。	DefaultCharacterSet="863"
932	Code Page932を設定します。	DefaultCharacterSet="932"
999	Windows ANSI文字セット (Code Page 1252)を設定します。	DefaultCharacterSet="999"
1250	Code Page1250 を設定します。	DefaultCharacterSet="1250"
1251	Code Page1251を設定します。	DefaultCharacterSet="1251"
1252	Code Page1252を設定します。	DefaultCharacterSet="1252"
1253	Code Page1253を設定します。	DefaultCharacterSet="1253"
1254	Code Page1254を設定します。	DefaultCharacterSet="1254"

(i) 用紙サイズ

一行あたりの紙幅・有効ドット数を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
58mm/360dots	プリンタを紙幅58mm、有効ドット数360ドットで使用します。	PaperSize="0"
58mm/432dots	プリンタを紙幅58mm、有効ドット数432ドットで使用します。	PaperSize="1"
80mm/512dots	プリンタを紙幅80mm、有効ドット数512ドットで使用します。	PaperSize="2"
80mm/576dots	プリンタを紙幅80mm、有効ドット数576ドットで使用します。	PaperSize="3"

(j) 印字桁数

1 行に印字する半角文字の文字数を選択します。
次の項目のうち一つを選択可能です。
用紙サイズにより選択できる値の範囲が異なります。

- 用紙サイズが58mm/360dots

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
30	30に設定します。	RecLineChars ="30"
40	40に設定します。	RecLineChars ="40"

- 用紙サイズが58mm/432dots

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
27	27に設定します。	RecLineChars ="27"
30	30に設定します。	RecLineChars ="30"
33	33に設定します。	RecLineChars ="33"
36	36に設定します。	RecLineChars ="36"
43	43に設定します。	RecLineChars ="43"
48	48に設定します。	RecLineChars ="48"
54	54に設定します。	RecLineChars ="54"

- 用紙サイズが80mm/512dots

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
42	42に設定します。	RecLineChars ="42"
56	56に設定します。	RecLineChars ="56"

- 用紙サイズが80mm/576dots

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
36	36に設定します。	RecLineChars ="36"
41	41に設定します。	RecLineChars ="41"
44	44に設定します。	RecLineChars ="44"
48	48に設定します。	RecLineChars ="48"
57	57に設定します。	RecLineChars ="57"
64	64に設定します。	RecLineChars ="64"
72	72に設定します。	RecLineChars ="72"

(k) 改行量(dots)

改行量を設定します。
0～255の範囲で設定可能です。
JposEntryのRecLineSpacingをこの項目で設定した値に更新します。

(l) ニアエンドセンサ

ニアエンドセンサ機能の有効/無効を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

この項目はRP-E10のみ指定可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
無効	ニアエンドセンサを無効に設定します。	NearEndSensor="0"
有効	ニアエンドセンサを有効に設定します。	NearEndSensor="1"

(m) 印字速度設定

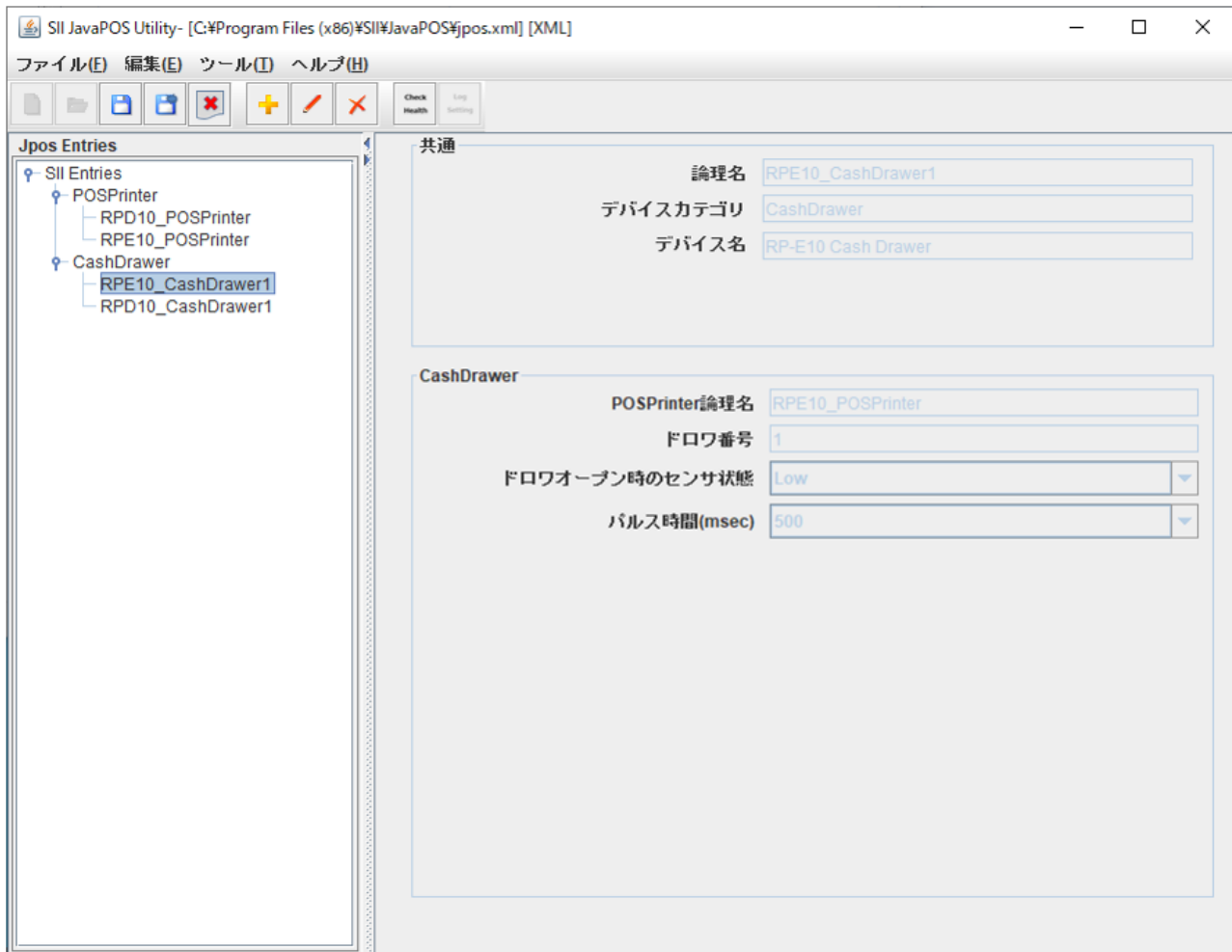
最高印字速度を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
RecLetterQuality 有効	印字速度は RecLetterQuality プロパティの値に依存します。	PrintSpeed="0"
高速	印字速度は RecLetterQuality プロパティによらず高速固定が設定されます。	PrintSpeed="1"
中速(品質)	印字速度は RecLetterQuality プロパティによらず中速(品質)固定が設定されます。	PrintSpeed="2"
中速(静音)	印字速度は RecLetterQuality プロパティによらず中速(静音)固定が設定されます。	PrintSpeed="3"
低速	印字速度は RecLetterQuality プロパティによらず低速固定が設定されます。	PrintSpeed="4"

(2) CashDrawer

① ユーザーインターフェース



② 項目詳細

(a) 論理名

論理名を設定します。

半角英数字を用いて任意の名称を設定できます。

同一の論理名を複数のデバイスに設定することはできません。

(b) デバイスカテゴリ

デバイスの種類を選択します。

CashDrawerデバイスを追加する場合は[Cash Drawer]を選択してください。

新規追加時のみ設定可能です。修正はできません。

(c) デバイス名

使用するデバイス名を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

新規追加時のみ設定可能です。修正はできません。

ダイアログ選択値	詳細
RP-D10 Cash Drawer	RP-D10に接続されたドロワを使用します。
RP-E10 Cash Drawer	RP-E10に接続されたドロワを使用します。

(d) POSPrinter 論理名

ドロワを接続するプリンタの論理名を選択します。

JavaPOS Entry Registryに設定済のPOSPrinterデバイスの中から選択できます。

新規追加時のみ設定可能です。修正はできません。

(e) ドロワ番号

OpenDrawerメソッド実行時に開くドロワを指定します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

新規追加時に自動的に付番されます。修正はできません。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
1	駆動回路1に接続されたドロワを開きます。	DrawerNo ="1"
2	駆動回路2に接続されたドロワを開きます。	DrawerNo ="2"

(f) ドロワオープン時のセンサ状態

ドロワオープン時のセンサ状態を選択します。

次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
Low	ドロワセンサの値がLowのときドロワは開いているとします。	DrawerOpenStatus ="Low"
High	ドロワセンサの値がHighのときドロワは開いているとします。	DrawerOpenStatus ="High"

(g) パルス時間(msec)

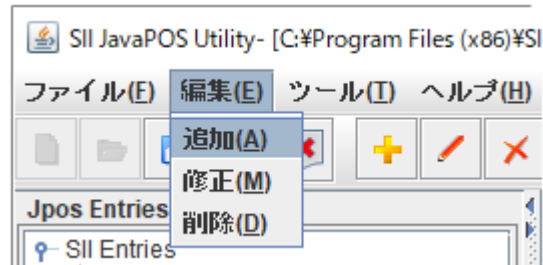
ドロワを開くためのパルス幅を選択します。
次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細	JposEntry
100	ドロワに100ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="100"
200	ドロワに200ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="200"
300	ドロワに300ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="300"
400	ドロワに400ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="400"
500	ドロワに500ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="500"
600	ドロワに600ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="600"
700	ドロワに700ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="700"
800	ドロワに800ミリ秒のパルスを送信します。	PulseTime="800"

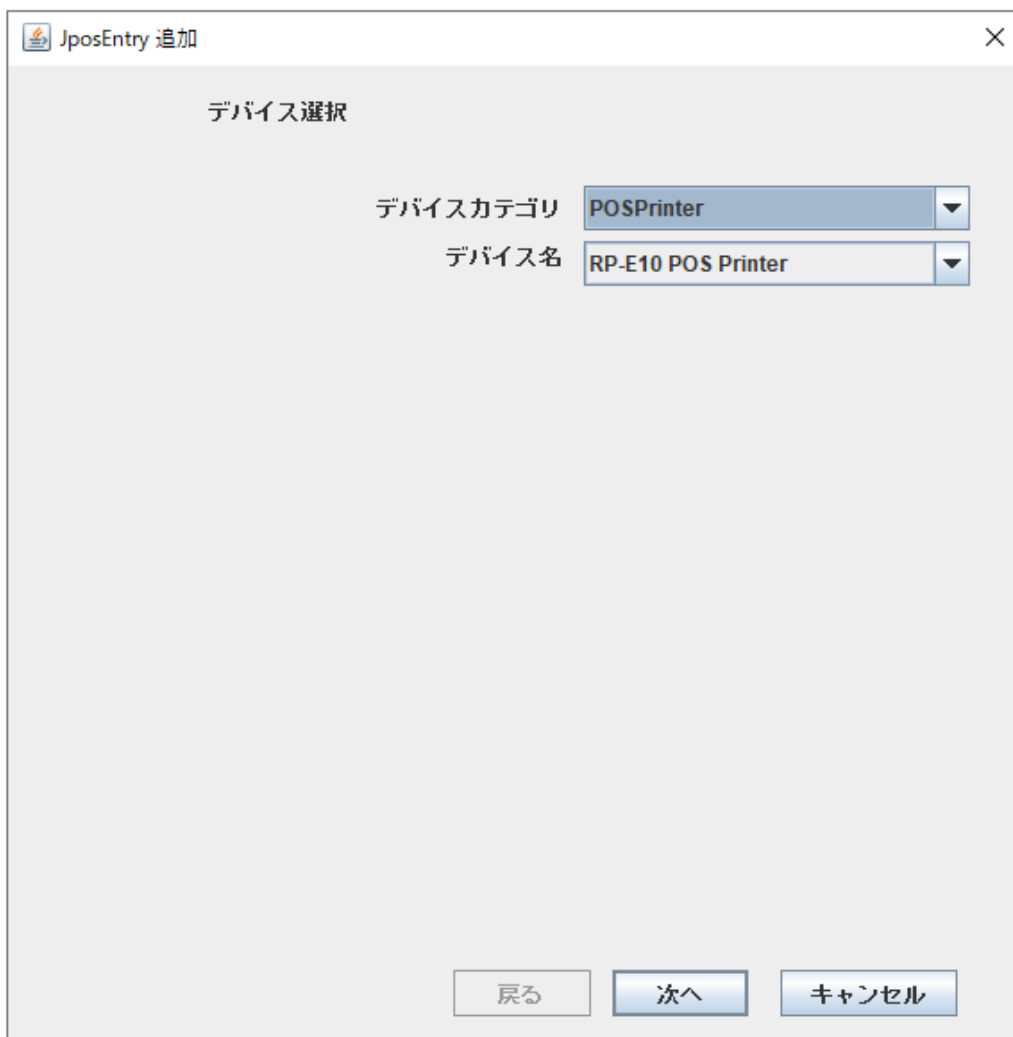
3.3.2 JposEntryの追加

(1) POSPrinterの追加

1. [編集(E)]メニューをクリックして表示されるメニューから、[追加(A)]をクリックします。



2. [JposEntry 追加]ウィザードが表示されます。
[デバイスカテゴリ]は[POSPrinter]を選択します。
RP-D10を使用する場合は[デバイス名]に[RP-D10 POS Printer]を選択し、
[次へ]をクリックします。
RP-E10を使用する場合は[デバイス名]に[RP-E10 POS Printer]を選択し、
[次へ]をクリックします。



3. 追加するPOSPrinterの詳細設定が表示されます。各項目を設定して、[次へ]をクリックします。
設定内容の詳細は「3.3.1 JposEntryの項目と詳細」を参照してください。



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "JposEntry 追加" (Add JposEntry). Inside, the "POSPrinterプロパティ設定" (POSPrinter Property Setting) section contains the following fields and controls:

- 論理名** (Logical Name): Text box containing "RPE10_POSPrinter(1)".
- 通信設定** (Communication Setting): Text box containing "Win,RP-E10,SII RP-E10 1" and a **設定** (Setting) button.
- 送信タイムアウト(msec)** (Transmit Timeout): Text box containing "10000".
- 受信タイムアウト(msec)** (Receive Timeout): Text box containing "10000".
- 処理完了タイミグ** (Processing Completion Timing): Dropdown menu with "印字の完了" (End of Printing) selected.
- 文字セット** (Character Set): Dropdown menu with "932" selected.
- 用紙サイズ** (Paper Size): Dropdown menu with "80mm/576dots" selected.
- 印字桁数** (Number of Digits): Dropdown menu with "48" selected.
- 改行量(dots)** (Line Feed Amount): Text box containing "30".
- ニアエンドセンサ** (Near End Sensor): Dropdown menu with "有効" (Valid) selected.
- 印字速度設定** (Printing Speed Setting): Dropdown menu with "RecLetterQuality有効" (RecLetterQuality Valid) selected.

At the bottom of the dialog are three buttons: **戻る** (Back), **次へ** (Next), and **キャンセル** (Cancel).

4. 続いてPOSPrinterに接続するCashDrawerの数（[CashDrawer追加数]）を選択する画面が表示されます。

POSPrinterのみ追加する場合：

[0]を選択して、[次へ]をクリックします。

その後の設定は5の説明を参照してください。

POSPrinterの他にCashDrawerを1台追加する場合：

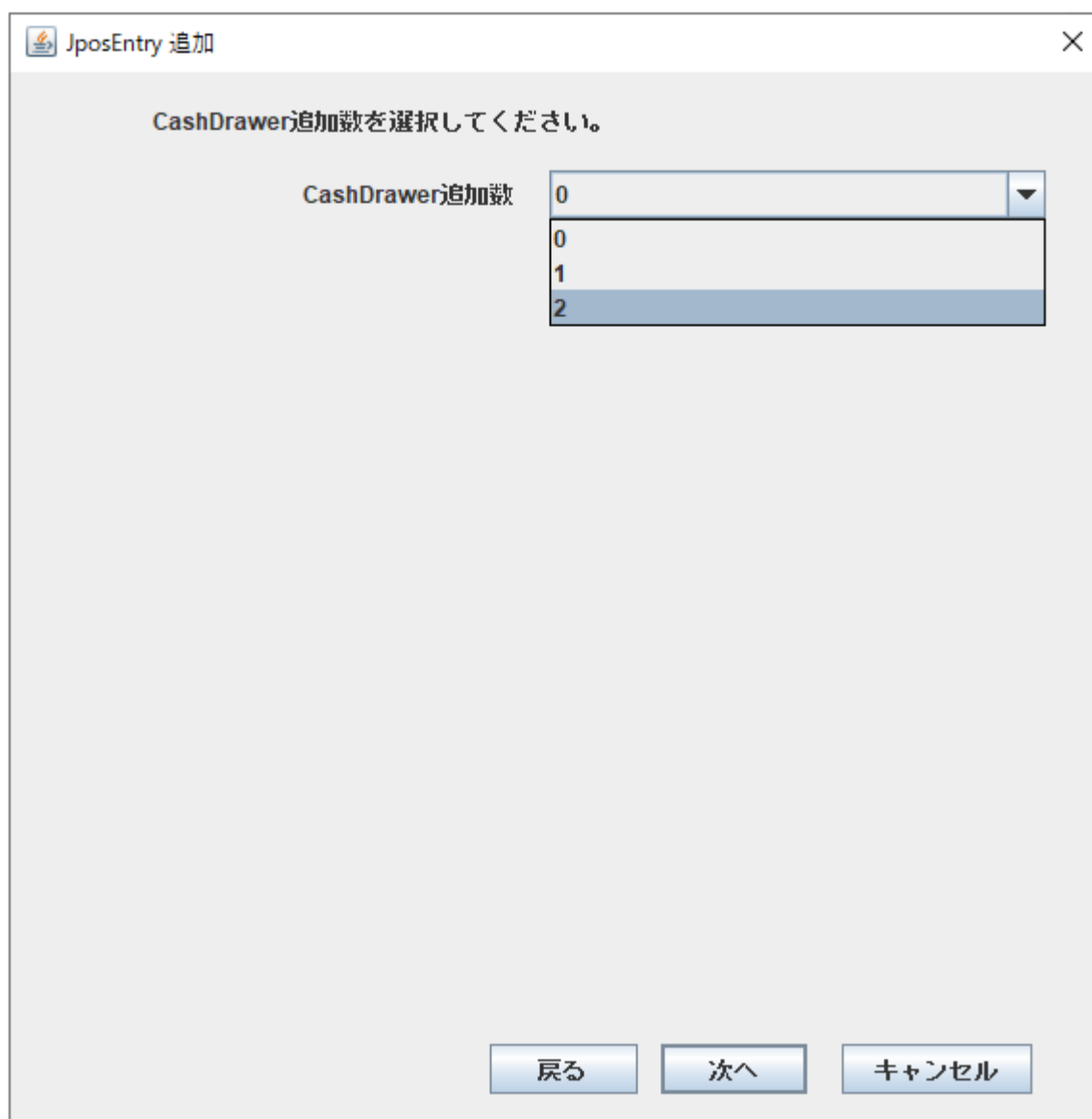
[1]を選択して、[次へ]をクリックします。

その後の設定は(2) CashDrawerの追加の4の説明を参照してください。

POSPrinterの他にドロワを2台追加する場合：

[2]を選択して、[次へ]をクリックします。

その後の設定は(2) CashDrawerの追加の5の説明を参照してください。



JposEntry 追加

CashDrawer追加数を選択してください。

CashDrawer追加数

0

0

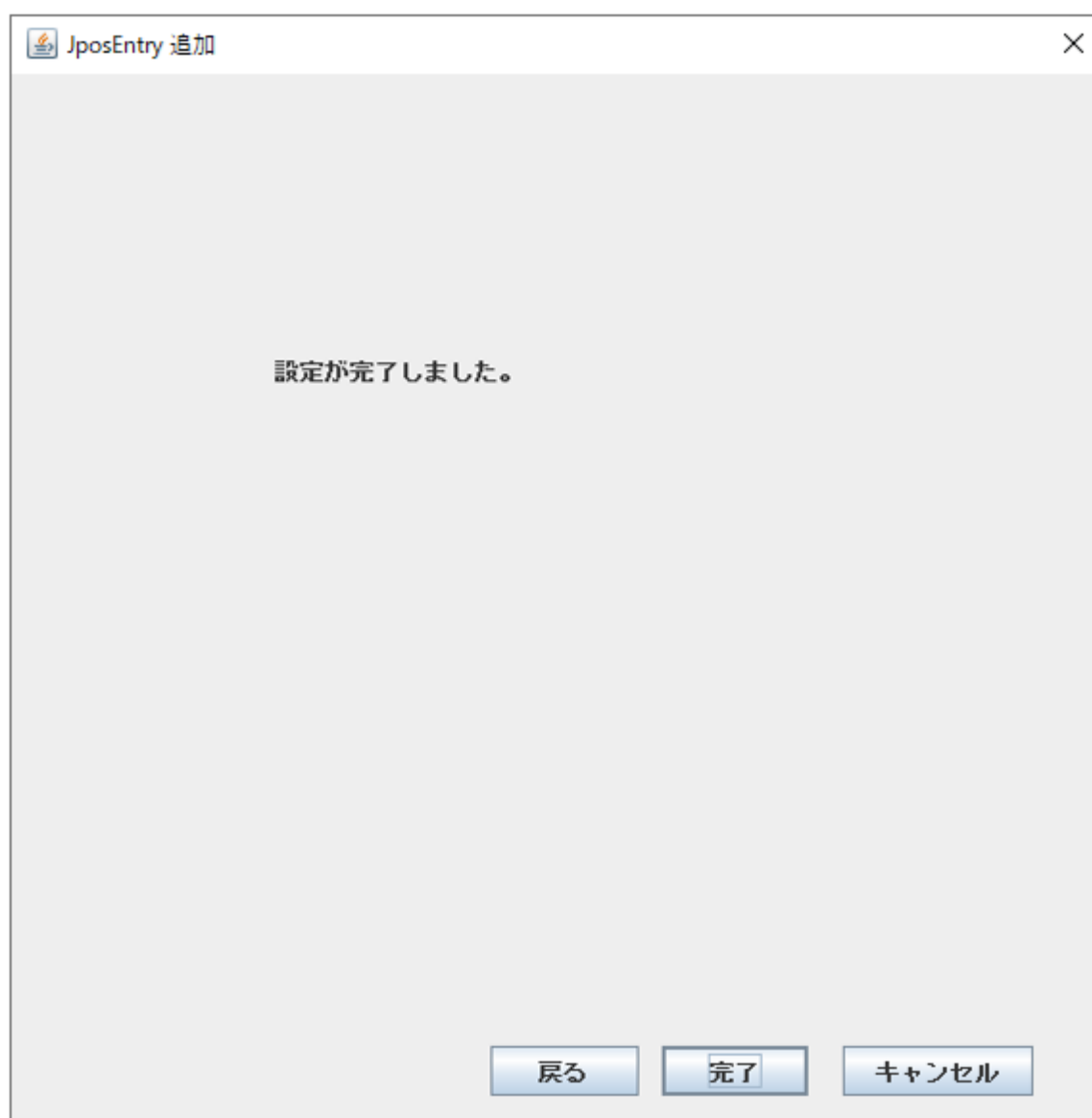
1

2

戻る 次へ キャンセル

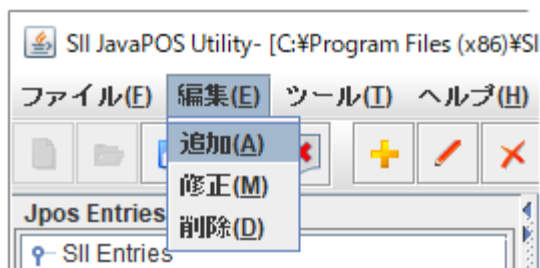
5. デバイスの追加を終了します。

[完了]をクリックすると、デバイスの追加が終了し、ウィザードが完了します。

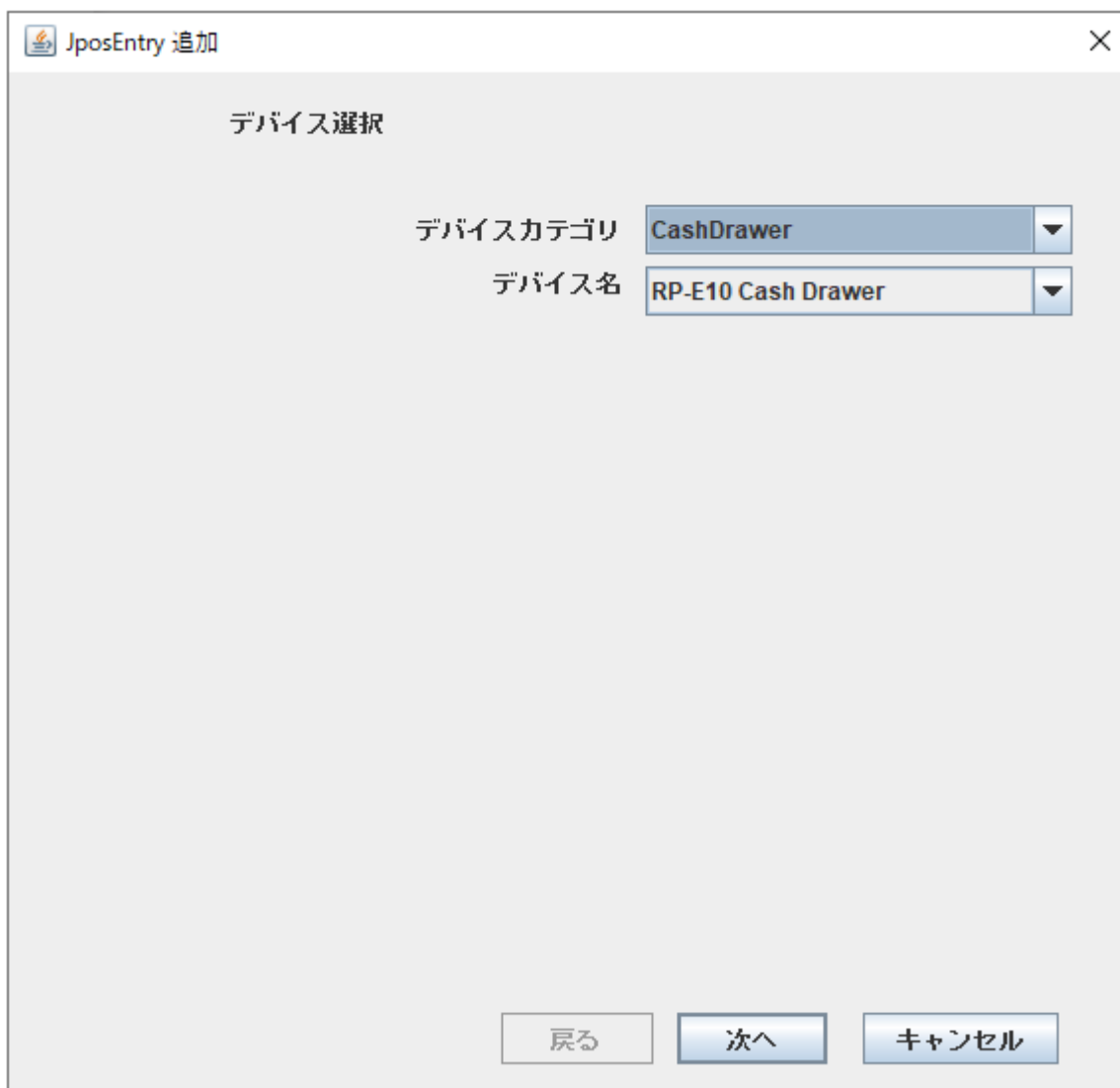


(2) CashDrawerの追加

1. [編集(E)]メニューをクリックして表示されるメニューから、[追加(A)]をクリックします。



2. [JposEntry追加]ウィザードが表示されます。
[デバイスカテゴリ]は[CashDrawer]を選択します。
RP-D10を使用する場合は[デバイス名]に[RP-D10 Cash Drawer]を選択し、
[次へ]をクリックします。
RP-E10を使用する場合は[デバイス名]に[RP-E10 Cash Drawer]を選択し、
[次へ]をクリックします。



3. 続いて接続対象となるPOSPrinterの論理名とPOSPrinterに接続するCashDrawerの数を選択する画面が表示されます。

接続対象となるPOSPrinterの論理名（[接続POSPrinter論理名]）を選択します。

POSPrinterの他にCashDrawerを1台追加する場合：

[CashDrawer追加数]において[1]を選択して、[次へ]をクリックします。

その後の設定は4の説明を参照してください。

POSPrinterの他にCashDrawerを2台追加する場合：

[CashDrawer追加数]において[2]を選択して、[次へ]をクリックします。

その後の設定は5の説明を参照してください。

JposEntry 追加

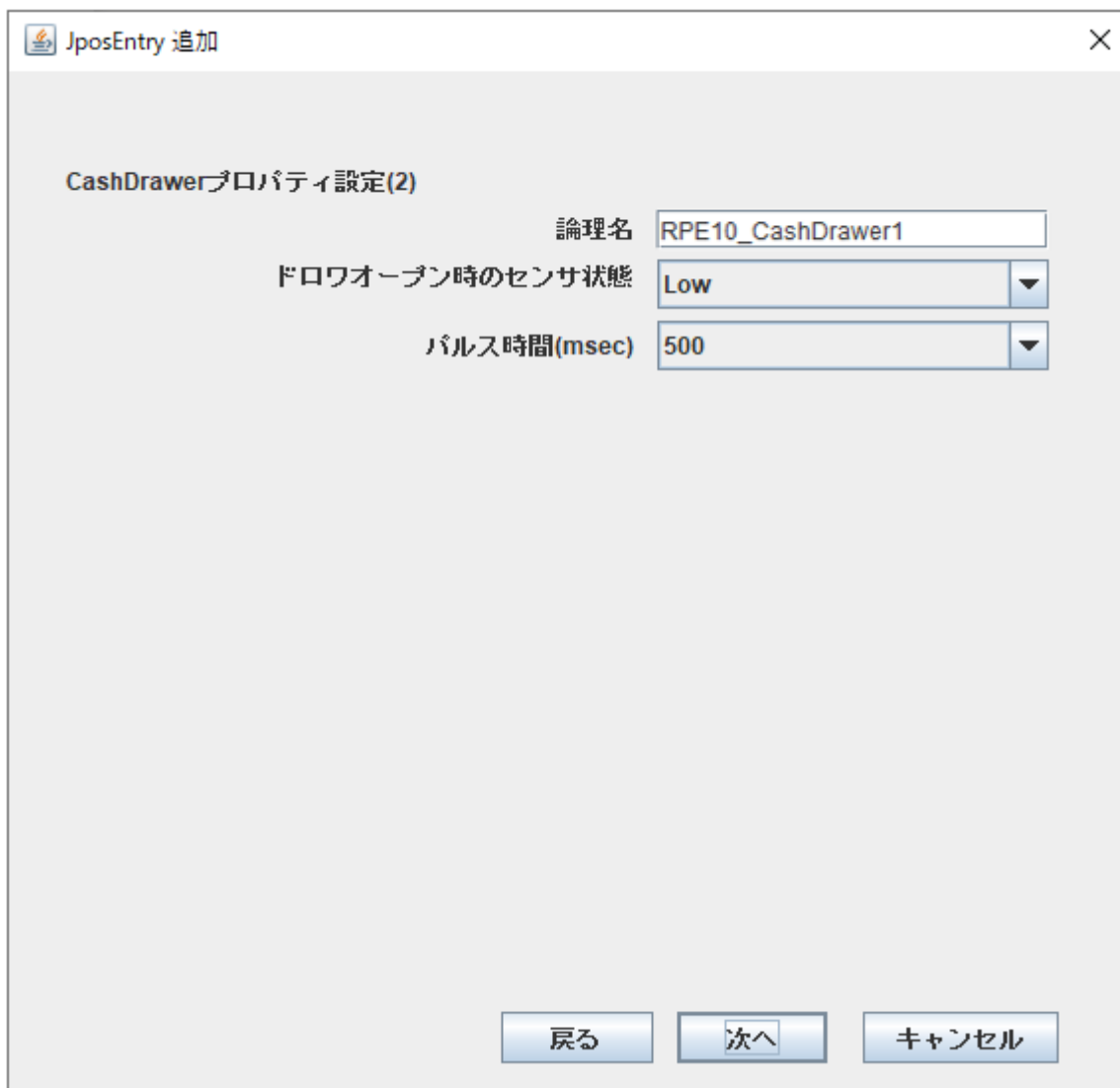
CashDrawer追加

接続POSPrinter論理名 RPE10_POSPrinter ▼

CashDrawer追加数 1 ▼

戻る 次へ キャンセル

4. ドロワ1台駆動の場合の詳細設定が表示されます。
各項目を設定して、[次へ]をクリックします。
設定内容の詳細は「3.3.1 JposEntryの項目と詳細」を参照してください。



JposEntry 追加

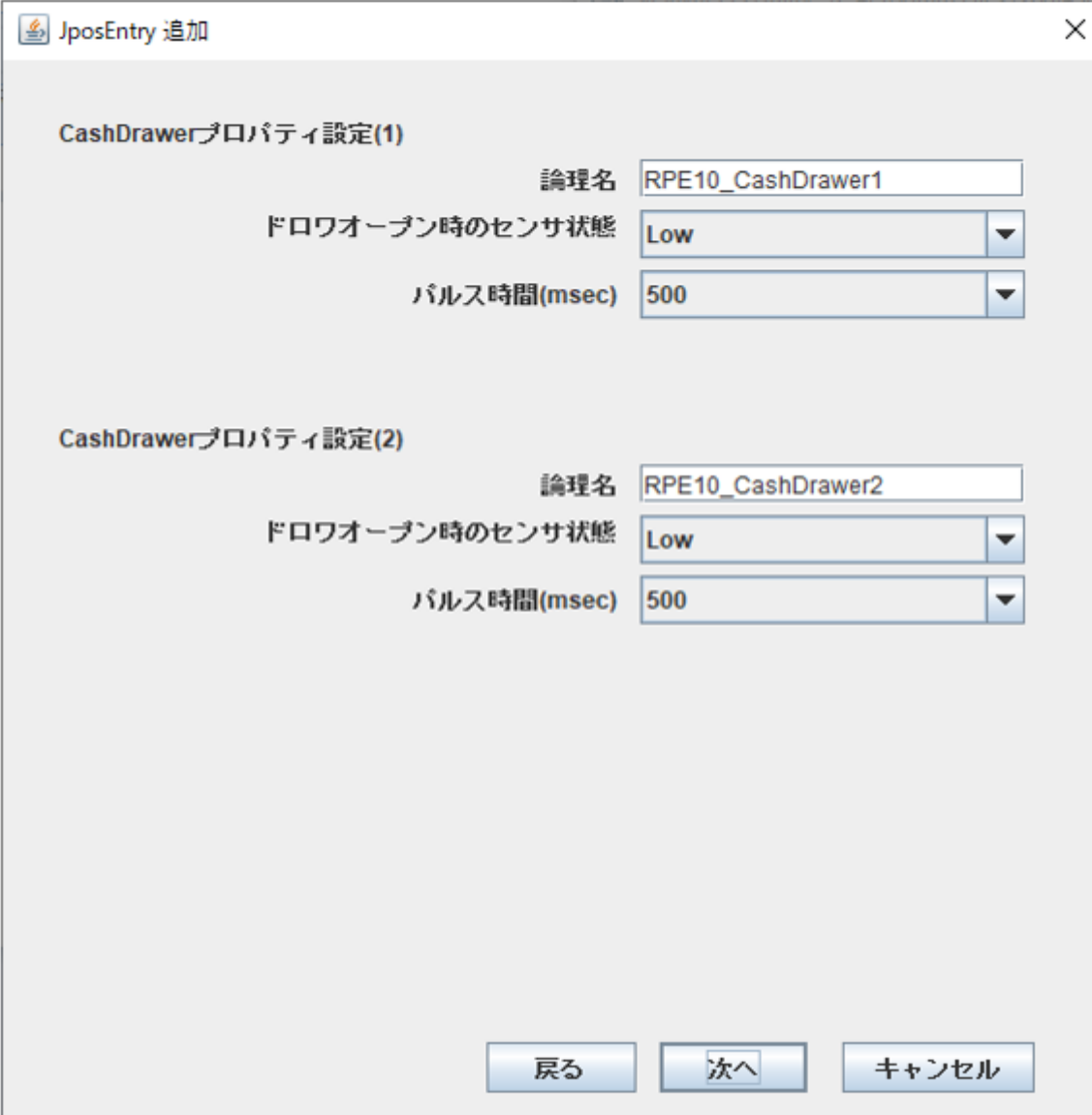
CashDrawerプロパティ設定(2)

論理名

ドロワオープン時のセンサ状態

パルス時間(msec)

5. ドロワ2台駆動の場合の詳細設定が表示されます。
各項目を設定して、[次へ]をクリックします。
設定内容の詳細は「3.3.1 JposEntryの項目と詳細」を参照してください。



JposEntry 追加

CashDrawerプロパティ設定(1)

論理名: RPE10_CashDrawer1

ドロワオープン時のセンサ状態: Low

パルス時間(msec): 500

CashDrawerプロパティ設定(2)

論理名: RPE10_CashDrawer2

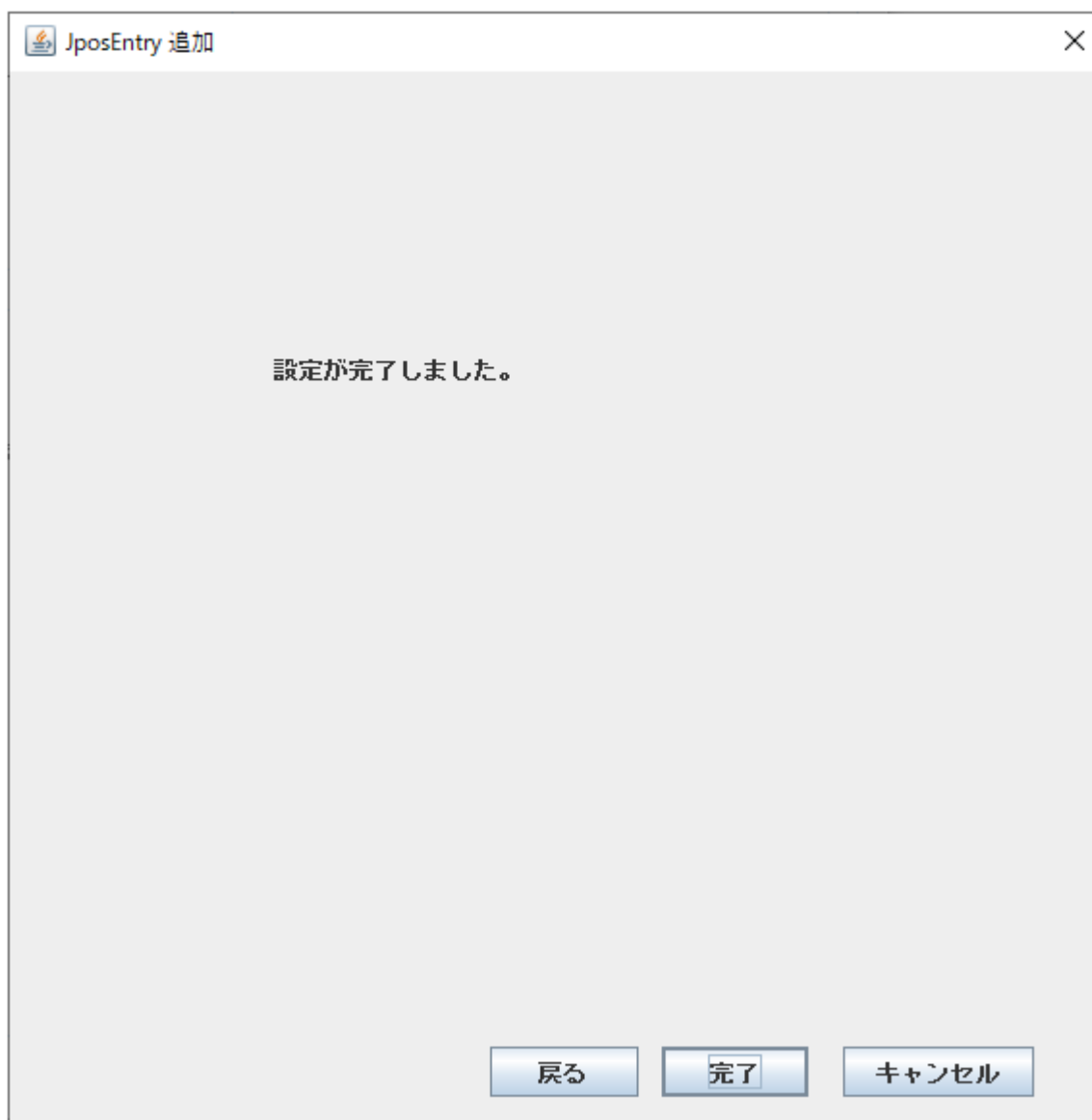
ドロワオープン時のセンサ状態: Low

パルス時間(msec): 500

戻る 次へ キャンセル

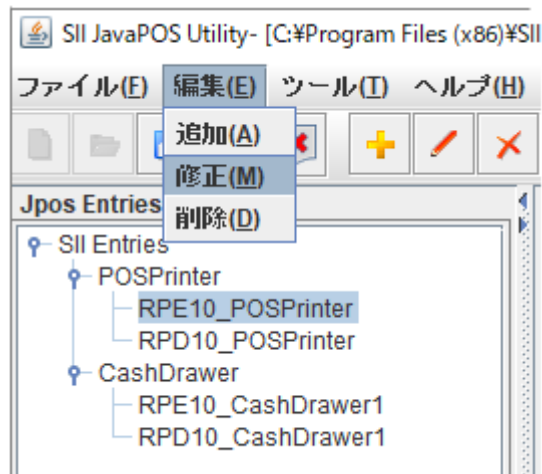
6. デバイスの追加を終了します。

[完了]を選択すると、デバイスの追加が終了し、ウィザードが完了します。

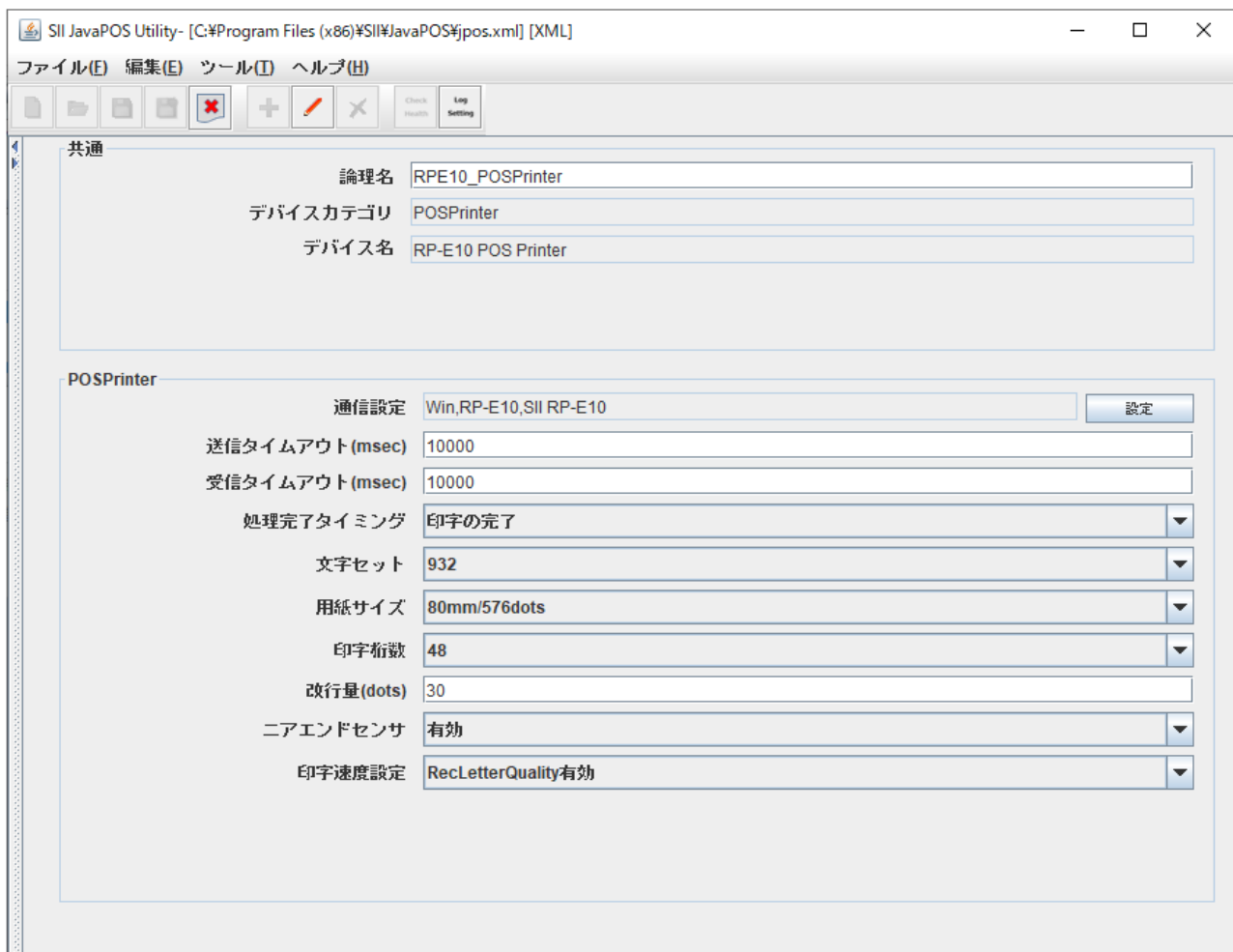


3.3.3 JposEntryの修正

1. 編集したいデバイスを選択した状態で、[編集(E)]メニューをクリックして、[修正(M)]を選択します。

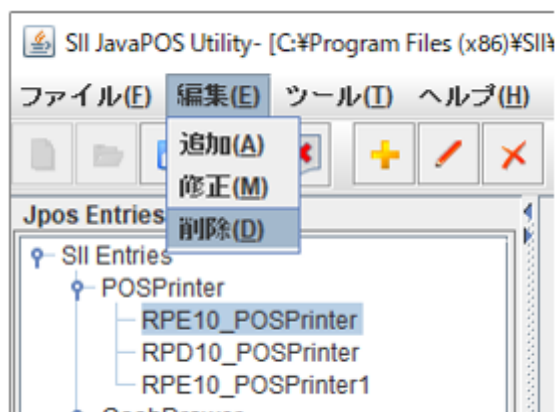


2. 選択したデバイスの詳細設定の変更を行います。変更した内容は、[編集(E)]メニューをクリックして、[修正(M)]を選択することで設定が反映されます。



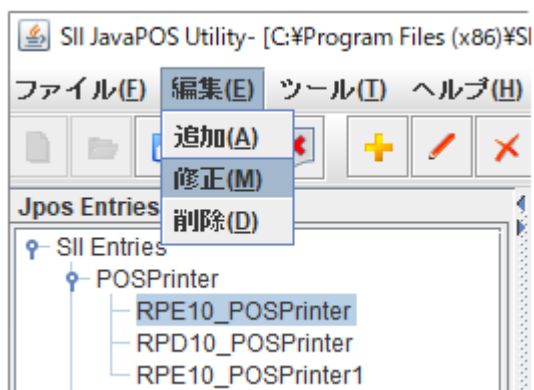
3.3.4 JposEntryの削除

削除するデバイスを選択し、[編集(E)]メニューをクリックして、[削除(D)]を選択します。

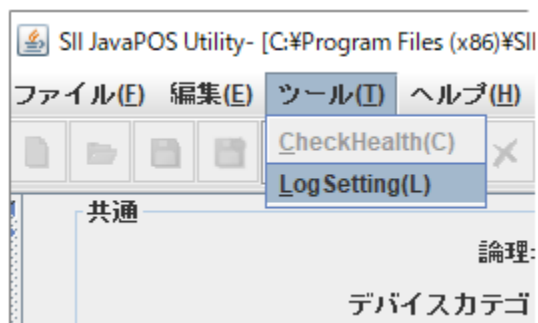


3.3.5 ログ設定

1. ログ設定したいデバイスを選択した状態で、[編集(E)]メニューをクリックして表示されるメニューから、[修正(M)]を選択します。



2. [ツール(T)]メニューをクリックして表示されるメニューから、[LogSetting(L)]を選択します。



3. [ログ設定]ウィザードが表示されます。
 設定内容の詳細は下記表を参照してください。
 [OK]をクリックすると、ログ設定が終了し、ウィザードが完了します。
 再度[修正(M)]を選択することで設定が反映されます。

(a) ログレベル

ログ出力レベルを選択します。
 次の項目のうち一つを選択可能です。

ダイアログ選択値	詳細
記録しない	ログを記録しません。
エラーレベルのログを記録する	エラーレベルのログを記録します。
トレースレベルのログを記録する	トレースレベルのログを記録します。

(b) ログファイルサイズ

ログの最大サイズ(KB)を設定します。
 0～102400の範囲で設定可能です。

(c) ログファイル名

ログファイルを保存するファイル名のフルパスを設定します。

4章 POSPrinter

4.1 一覧

4.1.1 共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapCompareFirmwareVersion	boolean	R	open	false
CapPowerReporting	int	R	open	JPOS_PR_STANDARD(1)
CapStatisticsReporting	boolean	R	open	true
CapUpdateFirmware	boolean	R	open	false
CapUpdateStatistics	boolean	R	open	true
CheckHealthText	String	R	open	""
Claimed	boolean	R	open	false
DeviceEnabled	boolean	R/W	open & claim	false
FreezeEvents	boolean	R/W	open	false
OutputID	int	R	open	0
PowerNotify	int	R/W	open	JPOS_PN_DISABLED(0)
PowerState	int	R	open	JPOS_PS_UNKNOWN(2000)
State	int	R	–	JPOS_S_CLOSED(1)
DeviceControlDescription	String	R	–	"JavaPOS POSPrinter Device Control"
DeviceControlVersion	int	R	–	"1013000"
DeviceServiceDescription	String	R	open	"SII RP Series JavaPOS POSPrinter Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
DeviceServiceVersion	int	R	open	"1013000"
PhysicalDeviceDescription	String	R	open	"SII RP-D10 POS Printer"*1
				"SII RP-E10 POS Printer"*2
PhysicalDeviceName	String	R	open	"RP-D10 POS Printer"*1
				"RP-E10 POS Printer"*2

*1 RP-D10使用時

*2 RP-E10使用時

4.1.2 専用プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
AsyncMode	boolean	R/W	open	false
CapCharacterSet	int	R	open	PTR_CCS_KANJI (11)
CapConcurrentJrnRec	boolean	R	open	false
CapConcurrentJrnSlp	boolean	R	open	false
CapConcurrentPageMode	boolean	R	open	false
CapConcurrentRecSlp	boolean	R	open	false
CapCoverSensor	boolean	R	open	true
CapJrn2Color	boolean	R	open	false
CapJrnBold	boolean	R	open	false
CapJrnCartridgeSensor	int	R	open	0
CapJrnColor	int	R	open	0
CapJrnDhigh	boolean	R	open	false
CapJrnDwide	boolean	R	open	false
CapJrnDwideDhigh	boolean	R	open	false
CapJrnEmptySensor	boolean	R	open	false
CapJrnItalic	boolean	R	open	false
CapJrnNearEndSensor	boolean	R	open	false
CapJrnPresent	boolean	R	open	false
CapJrnUnderline	boolean	R	open	false
CapMapCharacterSet	boolean	R	open	false
CapRec2Color	boolean	R	open	false
CapRecBarCode	boolean	R	open	true
CapRecBitmap	boolean	R	open	true
CapRecBold	boolean	R	open	true
CapRecCartridgeSensor	int	R	open	0
CapRecColor	int	R	open	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
CapRecDhigh	boolean	R	open	true
CapRecDwide	boolean	R	open	true
CapRecDwideDhigh	boolean	R	open	true
CapRecEmptySensor	boolean	R	open	true
CapRecItalic	boolean	R	open	false
CapRecLeft90	boolean	R	open	true
CapRecMarkFeed	int	R	open	0
CapRecNearEndSensor	boolean	R	open	false* ¹ JavaPOS Entry Registryに依存* ²
CapRecPageMode	boolean	R	open	true
CapRecPapercut	boolean	R	open	true
CapRecPresent	boolean	R	open	true
CapRecRight90	boolean	R	open	true
CapRecRotate180	boolean	R	open	true

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapRecRuledLine	int	R	open	0
CapRecStamp	boolean	R	open	false
CapRecUnderline	boolean	R	open	true
CapSlp2Color	boolean	R	open	false
CapSlpBarCode	boolean	R	open	false
CapSlpBitmap	boolean	R	open	false
CapSlpBold	boolean	R	open	false
CapSlpBothSidesPrint	boolean	R	open	false
CapSlpCartridgeSensor	int	R	open	0
CapSlpColor	int	R	open	0
CapSlpDhigh	boolean	R	open	false
CapSlpDwide	boolean	R	open	false
CapSlpDwideDhigh	boolean	R	open	false
CapSlpEmptySensor	boolean	R	open	false
CapSlpFullslip	boolean	R	open	false
CapSlpItalic	boolean	R	open	false
CapSlpLeft90	boolean	R	open	false
CapSlpNearEndSensor	boolean	R	open	false
CapSlpPageMode	boolean	R	open	false
CapSlpPresent	boolean	R	open	false
CapSlpRight90	boolean	R	open	false
CapSlpRotate180	boolean	R	open	false
CapSlpRuledLine	int	R	open	0
CapSlpUnderline	boolean	R	open	false
CapTransaction	boolean	R	open	true
CartridgeNotify	int	R/W	open	PTR_CN_DISABLED(0)
CharacterSet	int	R/W	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
CharacterSetList	String	R	open	"437, 850, 852, 858, 860, 863, 865, 932, 999, 1250, 1251, 1252, 1253, 1254"
CoverOpen	boolean	R	open, claim, & enable	プリンタの状態に依存
ErrorLevel	int	R	open	PTR_EL_NONE(1)
ErrorStation	int	R	open	0
ErrorString	String	R	open	""
FlagWhenIdle	boolean	R/W	open	false
FontTypefaceList	String	R	open	""
JrnCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
JrnCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	false

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
JrnLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
JrnLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineCharsList	String	R	open	""
JrnLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineWidth	int	R	open, claim, & enable	0
JrnNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false
MapCharacterSet	boolean	R/W	open	false
MapMode	int	R/W	open	PTR_MM_DOTS(1)
PageModeArea	String	R	open	""
PageModeDescriptor	int	R	open	0
PageModeHorizontalPosition	int	R/W	open	0
PageModePrintArea	String	R/W	open	""
PageModePrintDirection	int	R/W	open	0
PageModeStation	int	R/W	open	0
PageModeVerticalPosition	int	R/W	open	0
RecBarCodeRotationList	String	R	open	"0, R90, L90, 180"
RecBitmapRotationList	String	R	open	"0, R90, L90, 180"
RecCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKOWN (0x10000000)
RecCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
RecEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	プリンタの状態に依存
RecLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
RecLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RecLineCharsList	String	R	open	JavaPOS Entry Registryに依存
RecLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RecLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RecLinesToPaperCut	int	R	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RecLineWidth	int	R	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RecNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false* ¹ プリンタの状態に依存* ²
RecSidewaysMaxChars	int	R	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
RecSidewaysMaxLines	int	R	open, claim, & enable	JavaPOS Entry Registryに依存
RotateSpecial	int	R/W	open	PTR_RP_NORMAL (1)
SlpBarCodeRotationList	String	R	open	""
SlpBitmapRotationList	String	R	open	""
SlpCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
SlpCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	false
SlpLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
SlpLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLineCharsList	String	R	open	""
SlpLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLinesNearEndToEnd	int	R	open, claim, & enable	0
SlpLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLineWidth	int	R	open, claim, & enable	0
SlpMaxLines	int	R	open, claim, & enable	0
SlpNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false
SlpPrintSide	int	R	open, claim, & enable	PTR_PS_UNKNOWN (0)
SlpSidewaysMaxChars	int	R	open, claim, & enable	0
SlpSidewaysMaxLines	int	R	open, claim, & enable	0

*1 RP-D10使用時

*2 RP-E10使用時

- CapRecNearEndSensor

次の値で初期化されます。

CapRecNearEndSensor	JavaPOS Entry Registry
true	NearEndSensor="1"
false	NearEndSensor="0"

- CharacterSet

DefaultCharacterSetに指定した値で初期化されます。

- RecLineChars、RecLineHeight、RecLineCharsList

次の値で初期化されます。

RecLineChars	RecLineHeight	RecLineCharsList	JavaPOS Entry Registry			
30	24	"30, 40"	PaperSize="0"	RecLineChars="30"		
40	16			RecLineChars="40"		
27	24	"27, 30, 33, 36, 43, 48, 54"	PaperSize="1"	RecLineChars="27"		
30				RecLineChars="30"		
33				RecLineChars="33"		
36				RecLineChars="36"		
43	16			RecLineChars="43"		
48				RecLineChars="48"		
54				RecLineChars="54"		
42	24			"42, 56"	PaperSize="2"	RecLineChars="42"
56	16					RecLineChars="56"
36	24	"36, 41, 44, 48, 57, 64, 72"	PaperSize="3"	RecLineChars="36"		
41				RecLineChars="41"		
44				RecLineChars="44"		
48				RecLineChars="48"		
57	16			RecLineChars="57"		
64				RecLineChars="64"		
72				RecLineChars="72"		

- RecLineSpacing

RecLineSpacingに指定した値で初期化されます。プロパティは**RecLineHeight**プロパティより小さい値を指定した場合は自動的に**RecLineHeight**プロパティの値に更新されます。

- **RecLinesToPaperCut**

プリンタ及び**RecLineSpacing**プロパティにより、次の式で求められる値(小数点以下切り上げ)で初期化されます。

プリンタ	RecLinesToPaperCut
RP-D10	RecLinesToPaperCut = 88 / RecLineSpacing
RP-E10	RecLinesToPaperCut = 100 / RecLineSpacing

- **RecLineWidth**

次の値で初期化されます。

RecLineWidth	JavaPOS Entry Registry
360	PaperSize="0"
432	PaperSize="1"
512	PaperSize="2"
576	PaperSize="3"

- **RecSidewaysMaxChars**

RecLineCharsプロパティにより決まる文字間スペース及び**RecLineHeight**プロパティにより、次の式で求められる値(小数点以下切り捨て)で初期化される

$$\mathbf{RecSidewaysMaxChars} = 2400 / (\mathbf{RecLineHeight} / 2 + \text{文字間スペース})$$

- **RecSidewaysMaxLines**

RecLineWidthプロパティ及び**RecLineSpacing**プロパティにより、次の式で求められる値(小数点以下切り捨て)で初期化される

$$\mathbf{RecSidewaysMaxLines} = ((\mathbf{RecLineWidth} - \mathbf{RecLineHeight}) / \mathbf{RecLineSpacing}) + 1$$

以下のPOSPrinter専用プロパティはサポートしていません。

CapConcurrentJrnRec、	CapConcurrentJrnSlp、	CapConcurrentPageMode、
CapConcurrentRecSlp、	CapJrn2Color、	CapJrnBold、
CapJrnCartridgeSensor、	CapJrnColor、	CapJrnDhigh、
CapJrnDwide、	CapJrnDwideDhigh、	CapJrnEmptySensor、
CapJrnItalic、	CapJrnNearEndSensor、	CapJrnPresent、
CapJrnUnderline、	CapSlp2Color、	CapSlpBarCode、
CapSlpBitmap、	CapSlpBold、	CapSlpBothSidesPrint、
CapSlpCartridgeSensor、	CapSlpColor、	CapSlpDhigh、
CapSlpDwide、	CapSlpDwideDhigh、	CapSlpEmptySensor、
CapSlpFullslip、	CapSlpItalic、	CapSlpLeft90、
CapSlpNearEndSensor、	CapSlpPageMode、	CapSlpPresent、
CapSlpRight90、	CapSlpRotate180、	CapSlpRuledLine
CapSlpUnderline、	JrnCartridgeState、	JrnCurrentCartridge、
JrnEmpty、	JrnLetterQuality、	JrnLineChars、
JrnLineCharsList、	JrnLineHeight、	JrnLineSpacing、
JrnLineWidth、	JrnNearEnd、	SlpBarCodeRotationList、
SlpBitmapRotationList、	SlpCartridgeState、	SlpCurrentCartridge、
SlpEmpty、	SlpLetterQuality、	SlpLineChars、
SlpLineCharsList、	SlpLineHeight、	SlpLinesNearEndToEnd、
SlpLineSpacing、	SlpLineWidth、	SlpMaxLines、
SlpNearEnd、	SlpPrintSide、	SlpSidewaysMaxChars、
SlpSidewaysMaxLines		

4.1.3 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
checkHealth	open, claim, & enable
claim	open
clearOutput	open, claim, & enable*
close	open
compareFirmwareVersion	open, claim, & enable
directIO	open, claim, & enable*
open	-
release	open & claim
resetStatistics	open, claim, & enable
retrieveStatistics	open, claim, & enable
updateFirmware	open, claim, & enable
updateStatistics	open, claim, & enable

*: JavaPOS Ver1.13とは使用条件が異なります。

4.1.4 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
beginInsertion	open, claim, & enable
beginRemoval	open, claim, & enable
changePrintSide	open, claim, & enable
clearPrintArea	open, claim, & enable
cutPaper	open, claim, & enable
drawRuledLine	open, claim, & enable
endInsertion	open, claim, & enable
endRemoval	open, claim, & enable
markFeed	open, claim, & enable
pageModePrint	open, claim, & enable
printBarCode	open, claim, & enable
printBitmap	open, claim, & enable
printImmediate	open, claim, & enable
printMemoryBitmap	open, claim, & enable
printNormal	open, claim, & enable
printTwoNormal	open, claim, & enable
rotatePrint	open, claim, & enable
setBitmap	open, claim, & enable
setLogo	open, claim, & enable
transactionPrint	open, claim, & enable
validateData	open, claim, & enable

4.1.5 イベント

イベント名	使用可能条件
DirectIOEvent	open, claim, & enable
ErrorEvent	open, claim, & enable
OutputCompleteEvent	open, claim, & enable
StatusUpdateEvent	open, claim, & enable

4.2 印字データとエスケープシーケンス

4.2.1 指定時のみ動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC [#]P	レシート用紙を切ります。代替文字' #' は、要求されたカットのパーセンテージを示すASCII 10進数の文字列です。 ' #' に100以上の値が指定された場合はフルカット、1～99の値が指定された場合はパーシャルカットを実行します。 ' #' が省略された場合はフルカットを実行します。 ' #' が0の場合は無視されます。 rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は無視されます。
フィードと用紙カット	ESC [#]fP	RecLinesToPaperCut プロパティ行分の紙送りをした後、レシート用紙をカットします。代替文字' #' は、「用紙カット」エスケープシーケンスで定義されています。 rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は無視されます。
フィードとカットとスタンプ印刷	ESC [#]sP	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ESC #B	前もって保存されていたビットマップを印刷します。代替文字' #' はビットマップ番号です。文字' #' が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。' #' は1～20までの指定が可能です。' #' が1～20以外の値の場合は無視されます。
トップロゴ印刷	ESC tL	前もって保存されていたトップロゴを印刷します。
ボトムロゴ印刷	ESC bL	前もって保存されていたボトムロゴを印刷します。
スタンプ印刷	ESC sL	サポートしていません。
複数行フィード*	ESC [#] IF	複数行のフィードをします。代替文字' #' は、フィードする行数を示すASCII 10進数の文字列です。 ' #' は0～255までの指定が可能です。この範囲を超える場合は、サポートする最大値の255行フィードを実行します。 もし、' #' が省略されていれば、1行分のフィードをします。 また、 rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は無視されます。
単位フィード*	ESC [#]uF	MapMode プロパティで指定された単位でフィードをします。代替文字' #' は、フィード量を示すASCII 10進数の文字列です。もし、' #' が省略されていれば、1単位分のフィードをします。 MapMode プロパティがPTR_MM_DOTS (1) の場合、' #' は1～255の範囲で指定が可能です。この範囲を超える場合は、サポートする最大値の255単位分のフィードを実行します。 また、 rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は無視されます。
逆フィード	ESC [#]rF	サポートしていません。

名称	データ	内容
埋め込みデータの送信	ESC [*]#E	"#E"に続く文字列は、一切変更されずにプリンタへ渡されます。代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままプリンタへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。'#'は1～65535までの指定が可能です。この範囲を超える場合は、埋め込みデータの送信は実行されません。 '#'で指定されたバイト数の印字データがエスケープシーケンスの指定後に設定されていない場合は、送信可能な印字データのみを送信します。（例：ESC 2Ea が指定された場合、1バイトしか文字列が設定されていないため、"a"のみを送信します。） また、rotatePrintメソッドによる90度回転中は、埋め込みデータの送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
バーコード印刷 (欄外の「バーコード印刷」を参照してください)	ESC [*]#R	バーコードを印刷します。代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 '#'の指定範囲とRの後に続くデータのバイト数が一致していない場合、'#'の指定範囲内のすべてデータを廃棄します。 また、rotatePrintメソッドによる90度回転中は、バーコード印刷の送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
罫線印刷	ESC *#dL	サポートしていません。

*: RP-D10において改行量は用紙節約の設定値により削減されます。そのため、下記の印刷処理が変更になります。

- 「複数行フィード」エスケープシーケンス (ESC|[#]1F) で指定したフィード量は、**RecLineSpacing** プロパティの設定値より小さくなります。
- 「単位フィード」エスケープシーケンス (ESC|[#]uF) で指定したフィード量は、用紙節約の設定値に基づき処理されます。（モード1の場合は、全くフィードしません。）

ただし、最終印刷行からレシートをカットするまでの改行量は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。節約したドットライン分の紙送りが行われるカット動作は、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P)、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]fP)、及び**cutPaper**メソッドです。

● バーコード印刷

アプリケーションは「バーコード印刷」エスケープシーケンス (ESC|[*]#R) を利用することにより、他の印刷データとともに、バーコードを印刷することができます。代替文字 '#' は、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。

Rに続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、バーコードの特性を指定します。

数値には、**printBarCode**メソッドのために定義された定数値が利用できます。

属性を示す文字は以下の通りです。

s: symbology (バーコードタイプ)
h: height (バーコードの高さ)
w: width (バーコードの幅)
a: alignment (バーコードの位置)
t: text position (HRI文字列の位置)
d: start of data (バーコードデータの開始位置)
e: end of data (バーコードデータの終了位置)

属性は、上記のリストで示された順番で必ず記述しなければなりません。

すべての属性は省略不可です。これら2つの条件のうち1つでも守られていない場合や、各属性に続く数値に範囲外の値を指定した場合は、期待した印字結果とならない場合があります。

UPC-Aを、中央揃え、バーコードの下にHRI文字列を印字、200ドット高さ、400ドット幅の条件で印刷する場合の例を以下に示します。

```
ESC|33Rs101h200w400a-2t-13d123456789012e
```

または

```
ESC|*33Rs101h200w400a-2t-13d123456789012e
```

4.2.2 印字中に動作するエスケープシーケンス

明確に変更されるまで、その状態を保つ特徴があります。

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC #fT	サポートしていません。

4.2.3 印字時に動作するエスケープシーケンス

各印刷メソッドの終わりや、あるいは"ノーマル"シーケンスによってリセットされる特徴があります。

名称	データ	内容
ボールド	ESC [!]bC	ボールド体で印刷します。 '!'が指定された場合は、ボールドを無効にします。
アンダーライン	ESC [!] [#]uC	アンダーラインと共に印刷します。代替文字'#'は、アンダーラインの太さ（ドット単位）を示すASCII 10進数の文字列です。有効な太さは0～2です。もし、'#'が省略されていれば、太さ1のアンダーラインが使用されます。'#'が3以上の場合は太さ2が使用されます。 '!'が指定された場合は、アンダーラインを無効にします。
イタリック	ESC [!]iC	サポートしていません。
カスタムカラー	ESC [#]rC	サポートしていません。
反転文字	ESC [!]rvC	明暗を反対にして印刷します。 '!'が指定された場合は、反転文字を無効にします。
網掛け文字	ESC [#]sC	サポートしていません。
縦横1倍角	ESC 1C	通常の大きさを印刷します。
横倍角	ESC 2C	横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC 3C	縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC 4C	縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC #hC	代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。'#'に1以下の値が指定された場合1倍率で印字します。'#'に8以上の値が指定された場合8倍率で印字します。
縦倍率	ESC #vC	代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。'#'に1以下の値が指定された場合1倍率で印字します。'#'に8以上の値が指定された場合8倍率で印字します。
色指定	ESC [#]fC	サポートしていません。
中央揃え	ESC cA	中心に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も中央揃えが継続します。 rotatePrint メソッドによる90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は指定を無視されます。
右寄せ	ESC rA	右に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も右寄せが継続します。 rotatePrint メソッドによる90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は指定を無視されます。
左寄せ	ESC lA	左に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も左寄せが継続します。 rotatePrint メソッドによる90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は指定を無視されます。
ノーマル	ESC N	ノーマルが指定された以降の印字データは、すべての書式設定を解除し、デフォルトの状態に復元します。
サブ スクリプト	ESC [!]tbC	サポートしていません。

名称	データ	内容
スーパー スクリプト	ESC [!]tpC	サポートしていません。
取り消し線	ESC [!] [#]stC	サポートしていません。

4.3 詳細

POSPrinterデバイスの提供する機能詳細について示します。
スローされる例外エラーについては「付録 A 例外」を参照してください。

4.3.1 共通プロパティ

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

型 **boolean**

説明 ファイルとデバイスのファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

型 **int**

説明 デバイスの通知能力を識別します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PR_STANDARD(1)	JPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)（電源オフまたはオフライン）とJPOS_PS_ONLINE(2001)の2種類の電源状態を判断し通知が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりJPOS_PR_STANDARD(1)に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスは使用状態に関する様々なスタティスティクスを収集提供可能です。 収集され通知される情報はデバイスに固有であり、 retrieveStatistics メソッドを使用して取得できます。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

型 **boolean**

説明 ファームウェアのアップデート機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスのスタティスティクスのいくつかは、 resetStatistics メソッドを使用して0にリセットできます。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

型 **String**

説明 直前に呼び出した**checkHealth**メソッドの結果を保持します。
以下に診断結果の例を示します。

値	意味
"Internal HCheck: Successful"	プリンタが印字可能な状態であることを確認しました。
"Internal HCheck: Failure"	プリンタが印字可能な状態であることを確認できません。
"External HCheck: Successful"	プリンタとの通信確認と印字のテストに成功しました。
"External HCheck: Failure"	プリンタとの通信確認、または印字のテストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Successful"	デバイスとの対話テストに成功しました。
"Interactive HCheck: Failure"	デバイスとの対話テストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Canceled"	デバイスとの対話テストにおいて、一度もテストをせずにダイアログを閉じました。

このプロパティは**open**メソッドにより空文字列に初期化されます。

Claimed プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスは、ほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。
true	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 デバイスの有効/無効を選択します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはディセーブルにされています。 falseに変更すると、ディセーブルにされます。
true	デバイスはイネーブルにされています。（動作状態です。） trueに変更するとイネーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションはこのプロパティをtrueに設定しなければなりません。

StateプロパティがJPOS_S_IDLE(2)以外のとき**DeviceEnabled**プロパティをtrueからfalseにすることはできません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

FreezeEvents プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 イベントの通知/非通知を選択します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	アプリケーションは、イベントの通知を許可します。凍結中に保持されていたイベントがあり、イベントを通知するすべての条件が調った場合、 FreezeEvents をfalseに変更すると、イベントが通知されます。
true	イベントは通知されません。 FreezeEvents がfalseに変更されるまで、イベントはキューイングされます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

AsyncModeプロパティをtrueに設定した状態で、**printNormal**メソッド等の印字メソッドを実行中にエラーが発生した場合、**ErrorEvent**イベントが凍結され、**State**プロパティがJPOS_S_BUSY(3)となります。この場合、POSPrinterデバイスをクローズすることができなくなりますので、**clearOutput**メソッドで凍結中のイベントを破棄するか、**FreezeEvents**プロパティをfalseに設定して、**ErrorEvent**を発生させた後、**close**メソッドを実行してください。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

OutputID プロパティ

型 **int**

説明 非同期要求（**AsyncMode**プロパティがtrueに設定されている時の、非同期対応メソッドの呼び出し）を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが非同期出力の開始に成功すると、POSPrinterデバイスはリクエストに識別子を割り当てます。出力が完了すると、**OutputCompleteEvent**を通知して、その出力IDをパラメータとして渡します。

出力ID番号は、1～2147483646の間でサイクリックに採番されます。

PowerNotify プロパティ R/W

型 **int**

説明 アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PN_DISABLED (0)	POSPrinterデバイスはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する StatusUpdateEvents は通知されず、また、 PowerState プロパティにも何も設定されません。
JPOS_PN_ENABLED (1)	DeviceEnabled プロパティがtrueに設定されると、POSPrinterデバイスは電源通知に関する StatusUpdateEvents の通知、 PowerState プロパティの更新を行います。 機能レベルは、 CapPowerReporting プロパティの値に依存します。

PowerNotifyプロパティは、デバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**プロパティがfalseの間のみ設定が可能です。

このプロパティは**open**メソッドにより JPOS_PN_DISABLED (0) に初期化されます。

PowerState プロパティ

型 **int**

説明 電源状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PS_UNKNOWN (2000)	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 • PowerNotifyプロパティがJPOS_PN_DISABLED (0) です。 • DeviceEnabledプロパティがfalseです。
JPOS_PS_ONLINE (2001)	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
JPOS_PS_OFFOFFLINE (2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

このプロパティは**open**メソッドにより JPOS_PS_UNKNOWN (2000) に初期化されます。

State プロパティ

型 **int**

説明 デバイスの現在の状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_S_CLOSED (1)	デバイスはクローズしています。
JPOS_S_IDLE (2)	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。
JPOS_S_BUSY (3)	デバイスは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
JPOS_S_ERROR (4)	エラーが報告され、通常のI/Oを再開するには、その前にアプリケーションがコントロールを正常な状態に戻さなければなりません。この状態を取りうるのは、 ErrorEvent イベントハンドラ内部のみとなります。

このプロパティはいつでも読取り可能です。
このプロパティは**open**メソッドが成功するまでは、JPOS_S_CLOSED(1)を返します。

DeviceControlDescription プロパティ

型 **String**

説明 "JavaPOS POSPrinter Device Control"が設定されています。
このプロパティはDevice Control情報を示します。
このプロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceControlVersion プロパティ

型 **String**

説明 "1013000"が設定されています。
このプロパティはDevice Controlのバージョン番号を示します。
このプロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceServiceDescription プロパティ

型 **String**

説明 このプロパティはDevice Service情報を示します。
openメソッドにより"SII RP Series JavaPOS POSPrinter Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."に初期化されます。

DeviceServiceVersion プロパティ

型 **String**

説明 このプロパティはDevice Serviceのバージョン番号を示します。
openメソッドにより"1013000"に初期化されます。

PhysicalDeviceDescription プロパティ

型 **String**

説明 デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティはプリンタによって異なります。
openメソッドにより、次に示す値の内の一つが設定されます。

プリンタ	値
RP-D10	"SII RP-D10 POS Printer"
RP-E10	"SII RP-E10 POS Printer"

PhysicalDeviceName プロパティ

型 **String**

説明 デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティはプリンタによって異なります。
openメソッドにより次に示す値の内の一つが設定されます。

プリンタ	値
RP-D10	"RP-D10 POS Printer"
RP-E10	"RP-E10 POS Printer"

4.3.2 専用プロパティ

AsyncMode プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 同期/非同期を選択します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	printNormal 、 cutPaper 、 printBarCode 、 printBitmap 、 printMemoryBitmap 、 rotatePrint 、 transactionPrint 、 pageModePrint の印刷メソッドが同期します。
true	上記の印刷メソッドが非同期します。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapCharacterSet プロパティ

型 **int**

説明 プリンタの印刷可能な文字設定を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CCS_KANJI (11)	文字設定は、Code Page932をサポートします。それは、0xA1と0xDFの間の半角のカタカナ、0x20と0x7Fの間のすべてのASCII文字をサポートします。また、JIS第一水準、JIS第二水準レベルで定義される文字のシフトJISコード文字をサポートします。

このプロパティは**open**メソッドによりPTR_CCS_KANJI (11)に初期化されます。

CapCoverSensor プロパティ

型 **boolean**

説明 カバーオープンセンサの有無を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンタは「カバーオープンセンサ」を持っています。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapMapCharacterSet プロパティ

型 **boolean**

説明 印字の際にアプリケーションの文字を選択した文字セットにマップするPOSPrinterデバイスの機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	POSPrinterデバイスは文字を CharacterSetList プロパティに定義された文字セットに対して正確にマッピングすることはできません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapRec2Color プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの2色印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	2色印刷が不可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapRecBarCode プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのバーコード印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	バーコード印刷が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecBitmap プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのビットマップ印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ビットマップ印刷が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecBold プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのボールド属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ボールド属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecCartridgeSensor プロパティ

型 **int**

説明 レシートカートリッジセンサ機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	カートリッジセンサの機能はサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドにより0に初期化されます。

CapRecColor プロパティ

型 **int**

説明 レシートのカラー印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)	プライマリカートリッジが搭載されています。

このプロパティは**open**メソッドにより PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001) に初期化されます。

CapRecDhigh プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの縦倍角属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦倍角属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドにより true に初期化されます。

CapRecDwide プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの横倍角属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	横倍角属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドにより true に初期化されます。

CapRecDwideDhigh プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの縦横倍角属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦横倍角属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecEmptySensor プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの用紙無しセンサ機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンタは「用紙無しセンサ」を持っています。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecItalic プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのイタリック属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	イタリック属性が不可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapRecLeft90 プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの左90度回転属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	左90度回転属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecMarkFeed プロパティ

型 **int**

説明 レシートのマーク付き用紙の制御機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	マーク付き用紙の制御機能はサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドにより0に初期化されます。

CapRecNearEndSensor プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの用紙ニアエンドセンサ機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	プリンタは「用紙ニアエンドセンサ」を持っていません。
true	プリンタは「用紙ニアエンドセンサ」を持っています。

このプロパティは、プリンタ及びJposEntryのNearEndSensorプロパティに依存します。

RP-D10の場合：

openメソッドによりfalseに初期化されます。

RP-E10の場合：

JposEntryのNearEndSensorプロパティが"0"に設定されている場合、このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

JposEntryのNearEndSensorプロパティが"1"に設定されている場合、このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecPageMode プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートステーションのページモード印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ページモード印刷が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecPaperCut プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの用紙カット機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	用紙カットが可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecPresent プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートステーションが存在する/しないを示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	レシートステーションが存在します。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecRight90 プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの右90度回転属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	右90度回転属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecRotate180 プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの180度回転属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	180度回転属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapRecRuledLine プロパティ

型 **int**

説明 レシートの印刷可能な罫線を示します。次に示す値の論理和が設定されます。

値	意味
0	罫線を印刷する機能がありません。

このプロパティは**open**メソッドにより0に初期化されます。

CapRecStamp プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのスタンプ印刷機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	スタンプ印刷が不可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapRecUnderline プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのアンダーライン属性機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	アンダーライン属性が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapTransaction プロパティ

型 **boolean**

説明 一括処理機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	一括処理が有効です。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CartridgeNotify プロパティ R/W

型 **int**

説明 プリンタのカートリッジの状態通知機能を設定します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CN_DISABLED(0)	カートリッジの状態通知を提供しません。

このプロパティはPTR_CN_DISABLED(0)のみ設定可能です。
このプロパティは**open**メソッドによりPTR_CN_DISABLED(0)に初期化されます。

CharacterSet プロパティ R/W

型 **int**

説明 文字の印字に用いるキャラクタを設定します。
このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
437	Code Page437文字セットを選択します。
850	Code Page850文字セットを選択します。
852	Code Page852文字セットを選択します。
858	Code Page858文字セットを選択します。
860	Code Page860文字セットを選択します。
863	Code Page863文字セットを選択します。
865	Code Page865文字セットを選択します。
932	Code Page932文字セット(シフトJISコード)として、Katakanaを選択します。
999	Windows ANSI文字セット (Code Page 1252) を設定します。
1250	Code Page1250文字セットを選択します。
1251	Code Page1251文字セットを選択します。
1252	Code Page1252文字セットを選択します。

値	意味
1253	Code Page1253文字セットを選択します。
1254	Code Page1254文字セットを選択します。

このプロパティは、**open**メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、JposEntryの**DefaultCharacterSet**プロパティに設定されている値に初期化されます。

CharacterSetList プロパティ

型 **String**

説明 プリンタがサポートするキャラクタ設定を文字列で示します。
このプロパティは**open**メソッドにより"437, 850, 852, 858, 860, 863, 865, 932, 999, 1250, 1251, 1252, 1253, 1254"に初期化されます。

CoverOpen プロパティ

型 **boolean**

説明 プリンタのカバー状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	プリンタのカバーが閉じています。
true	プリンタのカバーが開いています。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

ErrorLevel プロパティ

型 **int**

説明 エラー状態からの復帰可能/不可能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_EL_NONE (1)	エラー状態ではありません。
PTR_EL_RECOVERABLE (2)	復帰可能エラーが発生しました。
PTR_EL_FATAL (3)	復帰不可能エラーが発生しました。

このプロパティは、**ErrorEvent**が通知される直前に更新されます。
エラーが解除されれば、このプロパティはPTR_EL_NONE (1)に変わります。
また、このプロパティは**open**メソッドによりPTR_EL_NONE (1)に初期化されます。

ErrorStation プロパティ

型 **int**

説明 エラーを検知した時に、印刷しているステーションを保持します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	エラーを検知していません。
PTR_S_RECEIPT (2)	レシートステーションでエラーを検知しました。

このプロパティは、**ErrorEvent**が通知される直前に更新されます。
エラーが解除されれば、このプロパティは0に変わります。
また、このプロパティは**open**メソッドにより0に初期化されます。

ErrorString プロパティ

型 **String**

説明 現在のエラーについてのデバイス固有の記述を保持します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
"The power supply of the device is off."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度1 ErrorCode= JPOS_E_NOHARDWARE (107)
"Unrecoverable error occurred."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度2 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED (114) ErrorCodeExtended=1010
"VP power error occurred."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度3 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED (114) ErrorCodeExtended=1001
"Cutter error."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度4 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED (114) ErrorCodeExtended=1002
"The cover is open."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度5 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED (114) ErrorCodeExtended=201
"Out of receipt form."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度6 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED (114) ErrorCodeExtended=203

値	意味
"Head temperature error."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度7 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=1005
"Communication error occurred."	次の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度8
"Time out."	ErrorCode=JPOS_E_FAILURE(111)

同時に複数のエラーが発生している時は、設定優先度の高いものを表示します。
このプロパティは、**ErrorEvent**が通知される直前に更新されます。
エラーが解除されれば、このプロパティは空文字列に変わります。
また、このプロパティは**open**メソッドにより空文字列に初期化されます。

FlagWhenIdle プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 **StatusUpdateEvent**の通知機能を示します。
このプロパティには、次に示す値はの内の一つが設定できます。

値	意味
false	StatusUpdateEvent は通知されません。
true	State プロパティがJPOS_S_IDLE(2)であれば、 StatusUpdateEvent を通知します。

FlagWhenIdleプロパティをtrueに設定した後、**StatusUpdateEvent**が通知されると、**FlagWhenIdle**プロパティは自動的にfalseにリセットされます。
FlagWhenIdleプロパティと**StatusUpdateEvent**を利用することにより、アプリケーションはすべての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または**clearOutput**メソッドもしくは**ErrorEvent**を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。

もし、**FlagWhenIdle**プロパティをtrueに設定する時に、**State**プロパティがJPOS_S_IDLE(2)であれば、**StatusUpdateEvent**は直ちに通知されます。したがって、非同期出力の終了とこのフラグの設定のすれ違いを気にせずに、アプリケーションはこのイベントを使用できます。
このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

FontTypefaceList プロパティ

型 **String[]**

説明 プリンタよりサポートされるフォントや書体を指定する文字列の配列を保持します。
空文字列はデフォルトのフォントタイプだけがサポートされていることを示します。
このプロパティは**open**メソッドにより空文字列に初期化されます。

MapCharacterSet プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 文字のマッピング機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	マッピングはサポートしていません。

このプロパティはfalseのみ設定可能です。
また、このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

MapMode プロパティ R/W

型 **int**

説明 プリンタのマッピングモードを示します。
マッピングモードは他のプロパティで使用するラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。
以下のマップモードをサポートしています。
()内の値は、単位あたりをドット換算した値です。

値	意味
PTR_MM_DOTS (1)	プリンタのドット幅 0.125mm (1ドット)
PTR_MM_TWIPS (2)	1インチの1/1440 (0.1411ドット)
PTR_MM_ENGLISH (3)	0.001インチ (0.203ドット)
PTR_MM_METRIC (4)	0.01ミリメートル (0.08ドット)

マッピングモード毎に、以下の計算式によって単位の変換を行います。

MapModeプロパティ	変換
PTR_MM_DOTS (1)	変換しない
PTR_MM_TWIPS (2)	$k = 1/1440$ ■ PTR_MM_DOTS (1) → PTR_MM_TWIPS (2) 変換 $twips = dot / (dpi * k)$ ■ PTR_MM_TWIPS (2) → PTR_MM_DOTS (1) 変換 $dot = twips * dpi * k$
PTR_MM_ENGLISH (3)	$k = 1/1000$ ■ PTR_MM_DOTS (1) → PTR_MM_ENGLISH (3) 変換 $english = dot / (dpi * k)$ ■ PTR_MM_ENGLISH (3) → PTR_MM_DOTS (1) 変換 $dot = english * dpi * k$
PTR_MM_METRIC (4)	$k = 1/100$ 、 $mmpi = 25.4$ ■ PTR_MM_DOTS (1) → PTR_MM_METRIC (4) 変換 $metric = (mmpi * dot) / (dpi * k)$ ■ PTR_MM_METRIC (4) → PTR_MM_DOTS (1) 変換 $dot = (metric * dpi * k) / mmpi$

MapModeプロパティは、各プロパティの表示上の単位だけを変更するので、内部処理は**MapMode**プロパティにかかわらず、すべてドット単位で行われます。
このため、値の丸め誤差が累積することはありません。
ドット値からマップモード値に変換する場合は、小数点以下を切り上げます。また、マップモード値からドット値に変換する場合は、小数点以下を切り捨てます。

MapModeプロパティを設定すると、**RecLineSpacing**、**RecLineWidth**、**RecLineHeight**、**PageModeArea**、**PageModePrintArea**、**PageModeHorizontalPosition**、**PageModeVerticalPosition**プロパティも変化します。

このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時にPTR_MM_DOTS(1)に初期化されます。

PageModeArea プロパティ

型 String

説明 **PageModeStation**プロパティに指定したステーションのページモード領域を、**MapMode**プロパティで指定した単位で保持します。
ページモード領域は、ページモード印刷領域とは異なり、プリンタのハードウェア的な能力で決定されます。このプロパティは、ページモード領域の幅と高さを表すカンマ区切りの2つのASCII数字で構成されます。
PageModeStationプロパティにPTR_S_RECEIPT(2)が指定された場合、このプロパティには以下の値が設定されます (**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合)。

値	意味
"360, 2400"	RecLineWidth プロパティ=360のときのページモード領域
"432, 2400"	RecLineWidth プロパティ=432のときのページモード領域
"512, 2400"	RecLineWidth プロパティ=512のときのページモード領域
"576, 2400"	RecLineWidth プロパティ=576のときのページモード領域

このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
有効なステーションが指定されていない場合、空文字列を返します。

PageModeDescriptor プロパティ

型 **int**

説明 **PageModeStation** プロパティに指定したステーションで利用可能なページモード機能を下記の値の論理和で示します。

値	意味
PTR_PM_BITMAP (1)	PageModeStation プロパティに指定したステーションで、ビットマップ印刷ができます。
PTR_PM_BARCODE (2)	PageModeStation プロパティに指定したステーションで、バーコード印刷ができます。
PTR_PM_BM_ROTATE (4)	PageModeStation プロパティに指定したステーションで、ビットマップの回転印刷ができます。
PTR_PM_BC_ROTATE (8)	PageModeStation プロパティに指定したステーションで、バーコードの回転印刷ができます。

このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation** プロパティに PTR_S_RECEIPT (2) を指定してください。

このプロパティは、有効なステーションが指定されるまでは、0 を返します。

PTR_S_RECEIPT (2) が指定された時点で、上記値の論理和に初期化されます。

PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W

型 **int**

説明 **PageModeStation** プロパティに指定したステーションのページモード印刷領域内の印刷開始位置を水平方向に補正するためのオフセット値です。

MapMode プロパティに指定した単位で表記します。

水平方向とは、**PageModePrintDirection** プロパティで設定した印刷方向と同じ方向を指します。

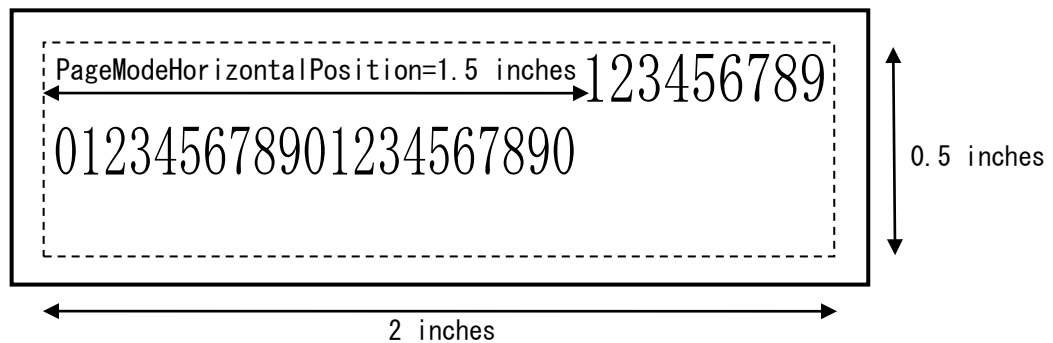
このプロパティは、現在位置ではなくて、最後に指定した水平方向のオフセット値を返します。

このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation** プロパティに PTR_S_RECEIPT (2) を指定してください。有効なステーションが指定されていない場合、0 を返します。

PageModeHorizontalPosition プロパティの使い方を、以下のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to 2 inches by 0.5 inches
myptr.setPageModePrintArea("0, 0, 2000, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.setPageModeHorizontalPosition(1500);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234567890¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



PageModePrintArea プロパティ R/W

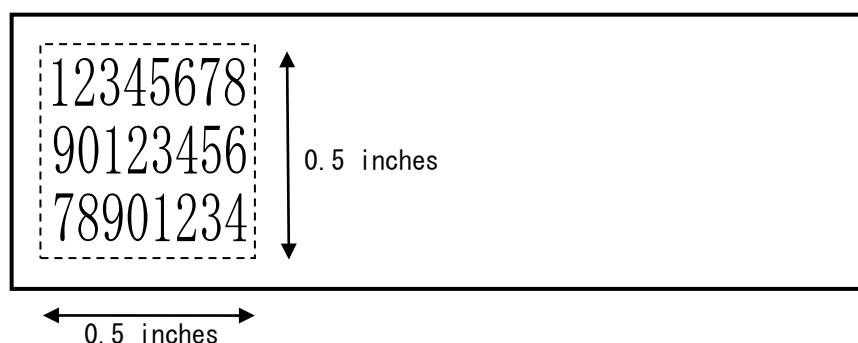
型 **String**

説明 **PageModeStation** プロパティに指定したステーションのページモード印刷領域を **MapMode** プロパティで指定した単位で保持します。
 ページモード印刷領域のサイズは、ページモード領域より大きく取ることはできません。このプロパティは、カンマ区切りの4つのASCII数字で構成されます。始点の水平方向座標、始点の垂直方向座標、水平方向の幅、垂直方向の高さ、の順に列挙します。例えば文字列が、"50, 100, 200, 400"である場合、そのステーションのページモード印刷領域は、左上隅(50, 100)と右下隅(249, 499)で囲まれる長方形で示されます。ページモード印刷領域の右端を超える文字は、次の行に印刷されます。ページモード印刷領域の下端を超える文字と画像は、印刷されません。

PageModePrintArea プロパティの使い方を、以下のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0, 0, 500, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。有効なステーションが指定されるまでは、空文字列を返します。PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、“0, 0, 0, 0”に初期化されます。

PageModePrintDirection プロパティ R/W

型 **int**

説明 ページモード印刷領域の印刷方向を指定します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

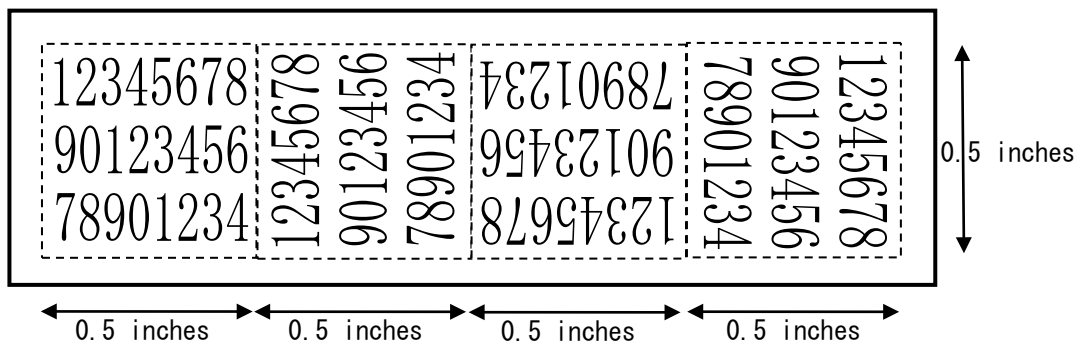
値	意味
PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)	通常の印刷方向です。 ページモード印刷領域の左上隅を始点に、左から右方向へ印刷します。
PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP(2)	左90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の左下隅を始点に、下から上方向へ印刷します。
PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT(3)	180度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右下隅を始点に、右から左方向へ印刷します。
PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM(4)	右90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右上隅を始点に、上から下方向へ印刷します。

このプロパティを変更すると、**PageModeHorizontalPosition**プロパティと**PageModeVerticalPosition**プロパティで示される印刷開始点の補正方向も変化します。このプロパティの変更は、現在編集集中のページモード印刷領域に対してのみ効果があります。ページモード印刷領域を切り替えることで、文字の回転方向を組み合わせたレシートや単票を印刷することができます。

PageModePrintDirectionプロパティの使い方を、以下のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0, 0, 500, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234¥n");
myptr.setPageModePrintArea("500, 0, 500, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1000, 0, 500, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1500, 0, 500, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

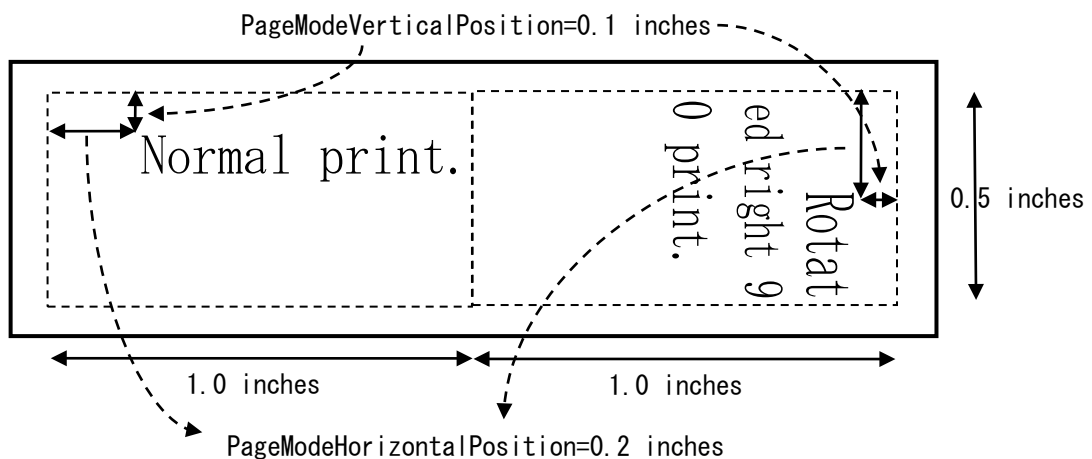
上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



同様に文字を回転させることもできます。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
myptr.setPageModeVerticalPosition(100);
myptr.setPageModeHorizontalPosition(200);
myptr.setPageModePrintArea("0, 0, 1000, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "Normal print.\n");
myptr.setPageModePrintArea("1000, 0, 1000, 500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "Rotated right 90 print.\n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

有効なステーションが指定されるまでは、0を返します。

PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)に初期化されます。

PageModeStation プロパティ R/W

型 **int**

説明 ページモード機能の対象とするステーションを指定します。
指定できるステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。
このプロパティは**open**メソッドにより0に初期化されます。
ページモード機能のプロパティやメソッドにアクセスする前に、必ずこのプロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

PageModeVerticalPosition プロパティ R/W

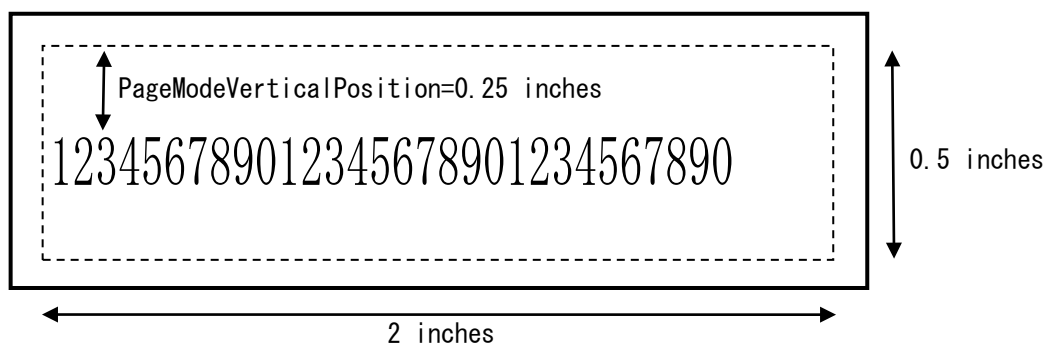
型 **int**

説明 **PageModeStation**プロパティに指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を垂直方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeプロパティに指定した単位で表記します。
垂直方向とは、**PageModePrintDirection**プロパティで設定した印刷方向に対して垂直な方向です。このプロパティは、現在位置ではなくて、最後に指定した垂直方向のオフセット値を返します。

PageModeVerticalPositionプロパティの使い方を、以下のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);  
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);  
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);  
// Set print area to 2 inches by 0.5 inches  
myptr.setPageModePrintArea("0, 0, 2000, 500");  
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);  
myptr.setPageModeVerticalPosition(250);  
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT, "123456789012345678901234567890¥n");  
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



このプロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。有効なステーションが指定されていない場合、0を返します。

RecBarcodeRotationList プロパティ

型 **String**

説明 レシートのバーコードが回転できる方向を文字列で示します。
このプロパティは**open**メソッドにより"0, R90, L90, 180"に初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	バーコードは通常の方法に印刷できます。
R90	バーコードは右90度で回転印刷できます。
L90	バーコードは左90度で回転印刷できます。
180	バーコードは180度（倒立）で回転印刷できます。

RecBitmapRotationList プロパティ

型 **String**

説明 レシートのビットマップが回転できる方向を文字列で示します。
このプロパティは**open**メソッドにより"0, R90, L90, 180"に初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	ビットマップは通常の方法に印刷できます。
R90	ビットマップは右90度で回転印刷できます。
L90	ビットマップは左90度で回転印刷できます。
180	ビットマップは180度（倒立）で回転印刷できます。

RecCartridgeState プロパティ

型 **int**

説明 現在選択されているレシートのカートリッジ（インク、リボン、トナー）の状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)	カートリッジ状態通知機能をサポートしていません。

このプロパティは、**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に、PTR_CART_UNKNOWN(0x10000000)に初期化されます。

RecCurrentCartridge プロパティ R/W

型 **int**

説明 現在選択されているレシートカートリッジを指定します。
このプロパティには、次に示す値が設定されます。

値	意味
PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)	プライマリカートリッジが選択されています。

このプロパティはPTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001) のみ設定可能です。
このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に
PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001) に初期化されます。

RecEmpty プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートの紙有り/無しを通知します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	紙有ります。
true	紙無しです。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。
CoverOpenプロパティがtrueのとき**RecEmpty**プロパティは更新されません。

RecLetterQuality プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 レシートの印字モードを示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	高速モードで印字されます。
true	高品質モードで印字されます。

JposEntryの**PrintSpeed**プロパティが"0"の場合、このプロパティは有効となり、印字モードに従ってプリンタの印字速度が変化します。

JposEntryの**PrintSpeed**プロパティが"0"以外の場合、このプロパティは無効となり、印字速度はこのプロパティの値によらず固定となります。

このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時にfalseに初期化されます。

型 **int**

説明 レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。
このプロパティには、次を示す値の内の一つが設定できます。
指定された値により、以下のフォントで印字されます。

・ **RecLineWidth**プロパティ：360の場合

値	印字フォント (高さ×幅)	文字間スペース	RecLineHeight プロパティ	指定可能範囲
30	24×12ドット	0ドット	24	1 ～ 30
40	16×8ドット	1ドット	16	31 ～ 40

・ **RecLineWidth**プロパティ：432の場合

値	印字フォント (高さ×幅)	文字間スペース	RecLineHeight プロパティ	指定可能範囲
27	24×12ドット	4ドット	24	1 ～ 27
30	24×12ドット	2ドット	24	28 ～ 30
33	24×12ドット	1ドット	24	31 ～ 33
36	24×12ドット	0ドット	24	34 ～ 36
43	16×8ドット	2ドット	16	37 ～ 43
48	16×8ドット	1ドット	16	44 ～ 48
54	16×8ドット	0ドット	16	49 ～ 54

・ **RecLineWidth**プロパティ：512の場合

値	印字フォント (高さ×幅)	文字間スペース	RecLineHeight プロパティ	指定可能範囲
42	24×12ドット	0ドット	24	1 ～ 42
56	16×8ドット	1ドット	16	43 ～ 56

・ **RecLineWidth**プロパティ：576の場合

値	印字フォント (高さ×幅)	文字間スペース	RecLineHeight プロパティ	指定可能範囲
36	24×12ドット	4ドット	24	1 ～ 36
41	24×12ドット	2ドット	24	37 ～ 41
44	24×12ドット	1ドット	24	42 ～ 44
48	24×12ドット	0ドット	24	45 ～ 48
57	16×8ドット	2ドット	16	49 ～ 57
64	16×8ドット	1ドット	16	58 ～ 64
72	16×8ドット	0ドット	16	65 ～ 72

上記以外の値を指定した場合、例外エラーを通知します。例えば、**RecLineWidth**プロパティが360のとき、41を設定すると例外エラーを通知します。

RecLineCharsプロパティを設定することにより、**RecLineHeight**、**RecLineSpacing**、**RecSidewaysMaxChars**、**RecSidewaysMaxLines**プロパティも更新されます。

また、このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に、JposEntryの**RecLineChars**プロパティに設定されている値に初期化されます。

RecLineCharsList プロパティ

型 **String**

説明 レシートの一列に印字される半角文字の文字数設定を文字列で示します。
このプロパティは**open**メソッドにより次に示す値の内の一に初期化されます。

値	意味
"30, 40"	JposEntryのPaperSizeが0のときの RecLineCharsList プロパティ
"27, 30, 33, 36, 43, 48, 54"	JposEntryのPaperSizeが1のときの RecLineCharsList プロパティ
"42, 56"	JposEntryのPaperSizeが2のときの RecLineCharsList プロパティ
"36, 41, 44, 48, 57, 64, 72"	JposEntryのPaperSizeが3のときの RecLineCharsList プロパティ

RecLineHeight プロパティ R/W

型 **int**

説明 レシートの印字行の高さです。**MapMode**プロパティで定義された単位で表記します。
このプロパティは書き換えることができません。値は、**RecLineWidth**プロパティと**RecLineChars**プロパティにより自動的に設定されます。
RecLineCharsプロパティが変わると、**RecLineHeight**プロパティは、設定された**RecLineChars**プロパティに対応する印字フォントの高さに更新されます。
RecLineHeightプロパティと印字フォントの関係は下記の通りです。
(**MapMode**プロパティがPTR_MM_DOTS(1)の場合)

値	意味
24	フォントA (24×12ドット) のときの RecLineHeight プロパティ
16	フォントB (16×8ドット) のときの RecLineHeight プロパティ

RecLineCharsプロパティと印字フォントの関係は**RecLineChars**プロパティを参照してください。**RecLineHeight**プロパティの値は、**open**メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

RecLineSpacing プロパティ R/W

型 **int**

説明 レシートの通常文字の印刷行の高さを示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。

MapModeプロパティで定義された単位で表記します。

RecLineCharsプロパティと**RecLineWidth**プロパティの設定により設定可能範囲が異なります。

設定可能な範囲は下記の値となります。（**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合）

RecLineWidth プロパティ	RecLineChars プロパティ	値
360	30	24 ~ 255
	40	16 ~ 255
432	27	24 ~ 255
	30	
	33	
	36	
	43	16 ~ 255
	48	
	54	
512	42	24 ~ 255
	56	16 ~ 255
576	36	24 ~ 255
	41	
	44	
	48	
	57	16 ~ 255
	64	
	72	

上記以外の値を指定した場合、例外エラーを通知します。

このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に、JposEntryの**RecLineSpacing**プロパティに設定されている値に初期化されます。

RP-D10においてプリンタの用紙節約の設定が有効な場合、改行量及び行間スペースの高さは、用紙節約の設定で指定された値で印字されます。そのため、改行量は、

RecLineSpacingプロパティで指定された通りにはなりません。用紙節約の設定の詳細は「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

RecLinesToPaperCut プロパティ

型 **int**

説明 レシート用紙を切断する前に、用紙を印刷方向に送る行数を示します。
このプロパティはプリンタと**RecLineSpacing**プロパティにより、以下の式によって決定されます。

[計算式]

• RP-D10の場合

RecLinesToPaperCutプロパティ = 88 / **RecLineSpacing**プロパティ

• RP-E10の場合

RecLinesToPaperCutプロパティ = 100 / **RecLineSpacing**プロパティ

例：

RP-D10使用時、

RecLineSpacingプロパティが31の場合 (**MapMode**=PTR_MM_DOTS(1)のときの値)

RecLinesToPaperCutプロパティ = 88 / 31 = 2.93... = 3

(小数点以下切り上げ)

このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に、上記の計算によって初期化されます。

RecLineWidth プロパティ

型 **int**

説明 プリンタの一行幅を示します。
MapModeプロパティで定義された単位で表記します。
このプロパティは**open**メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に、次に示す値の内の一つに初期化されます。 (**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合)

値	意味
360	JposEntryのPaperSizeが0のときの RecLineWidth プロパティ
432	JposEntryのPaperSizeが1のときの RecLineWidth プロパティ
512	JposEntryのPaperSizeが2のときの RecLineWidth プロパティ
576	JposEntryのPaperSizeが3のときの RecLineWidth プロパティ

RecNearEnd プロパティ

型 **boolean**

説明 レシートのニアエンド状態を通知します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ニアエンドではありません。
true	ニアエンドです。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。なお、**CapRecNearEndSensor**プロパティがfalseの場合、常にfalseを示します。また、**CapRecNearEndSensor**プロパティがtrueかつ**RecEmpty**プロパティがtrueの場合、**RecNearEnd**プロパティは常にtrueを示します。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

型 **int**

説明 サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。
このプロパティは**PageModeArea**プロパティと印字フォントにより、以下の計算によって決定されます。

[計算式]

RecSidewaysMaxCharsプロパティ

= **PageModeArea**プロパティの縦最大高さ / ((印字フォント / 2) + 文字間スペース)

例：

PageModeAreaプロパティが"576, 2400"、**RecLineChars**プロパティが48の場合

RecSidewaysMaxCharsプロパティ = 2400 / ((24 / 2) + 0) = 200

(小数点以下切捨て)

このプロパティは**open**メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、上記の計算によって初期化されます。

RecSidewaysMaxLines プロパティ

型 **int**

説明 サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、印刷される最大行数です。

このプロパティは**RecLineWidth**プロパティ、**RecLineSpacing**プロパティと**RecLineHeight**プロパティにより、以下の計算によって決定されます。

[計算式]

RecSidewaysMaxLinesプロパティ

$$= (\text{RecLineWidthプロパティ} - \text{RecLineHeightプロパティ}) / \text{RecLineSpacing} + 1$$

例：

RecLineWidthプロパティが576、**RecLineHeight**プロパティが24、**RecLineSpacing**プロパティが30の場合

RecSidewaysMaxLinesプロパティ = (576 - 24) / 30 + 1 = 19

(小数点以下切捨て)

このプロパティは**open**メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、上記の計算によって初期化されます。

RotateSpecial プロパティ R/W

型 **int**

説明 バーコードの回転方向を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_RP_NORMAL (1)	通常の印字方向で印刷します。
PTR_RP_RIGHT90 (257)	右90度に回転印刷します。
PTR_RP_LEFT90 (258)	左90度に回転印刷します。
PTR_RP_ROTATE180 (259)	180度（倒立）に回転印刷します。

このプロパティは**open**メソッドにより、PTR_RP_NORMAL (1)に初期化されます。

rotatePrintメソッドで`rotation`にPTR_RP_BARCODE (4096)が含まれている場合は`rotation`の回転方向を優先します。

4.3.3 共通メソッド

checkHealth メソッド

形式 **void checkHealth(int level) throws JposException;**

*level*パラメータは、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。
以下の値を指定できます。

パラメータ	意味
JPOS_CH_INTERNAL (1)	デバイスの物理状態を変化させない内部テストを実行します。プリンタが印字可能な状態であるかどうかを確認します。
JPOS_CH_EXTERNAL (2)	プリンタとの通信を確認後、印字のテストを実行します。プリンタのROMバージョンID、 DeviceServiceVersion 、 PhysicalDeviceName プロパティを印字します。
JPOS_CH_INTERACTIVE (3)	デバイスとの対話テストを実行します。本ソフトウェアは、モーダルダイアログボックスを表示して、プリンタのROMバージョンID、 DeviceServiceVersion 、 PhysicalDeviceName プロパティを印字します。

説明 デバイスの状態をテストします。
このメソッドの結果は**CheckHealthText**プロパティに格納されます。
checkHealthメソッドは常に同期します。

claim メソッド

形式 **void claim(int timeout) throws JposException;**

*timeout*パラメータは、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を示します。
0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。
JPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで待ちます。

説明 デバイスに対して排他アクセスを要求します。
POSPrinterデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。
成功すると、**Claimed**プロパティはtrueに設定されます。
電源OFFまたはケーブル切断時は、本メソッドは失敗します。

clearOutput メソッド

形式 **void clearOutput() throws JposException;**

説明 バッファリングされているデバイス出力をすべてクリアします。
保留になっていた出力エラーイベント（**FreezeEvents**がfalseに設定されるのを待ち合わせている）もクリアされます。

close メソッド

- 形式 **void close()** throws **JposException**;
- 説明 デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledプロパティがtrueの場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
Claimedプロパティがtrueの場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

compareFirmwareVersion メソッド

- 形式 **void compareFirmwareVersion(String firmwareFileName)** throws **JposException**;
- 説明 本メソッドはサポートしていません。

directIO メソッド

- 形式 **void directIO(int command, int[] data, Object object)** throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>command</i>	コマンド番号。 デバイスサービスが割り当てた特定値です。
<i>data</i>	変更可能な整数配列。 値または使用方法はコマンド番号とデバイスサービスによって変化します。
<i>object</i>	付加的なデータ。 使用方法はコマンド番号とデバイスサービスによって変化します。

- 説明 以下の機能をサポートしています。
- ・残りメモリ容量応答取得
 - ・ステータス応答
 - ・国際文字の変更
- directIO**メソッドは常に同期します。

● 残りメモリ容量応答取得

パラメータ	説明
<i>command</i>	3
<i>data</i>	OUT 残りメモリ容量応答値
<i>object</i>	<i>null</i>

残りメモリ容量応答コマンドを発行し、そのレスポンスを数値で返します。
応答データは*data*に格納されます。

- ステータス応答

パラメータ	説明
<i>command</i>	501
<i>data</i>	OUT ステータス応答値
<i>object</i>	<i>null</i>

用紙センサステータスの内容を数値で返します。応答データは*data*に格納されます。

ステータス応答値	RP-D10	RP-E10*
0	紙有り	紙有り・ニアエンド未検出
1	紙無し	紙無し・ニアエンド未検出
2	－	紙有り・ニアエンド検出
3	－	紙無し・ニアエンド検出

*: CapRecNearEndSensorプロパティがfalseの場合、常にニアエンド未検出の値を返します。

- 国際文字の変更

パラメータ	説明
<i>command</i>	201
<i>data</i>	国際文字番号 <i>n</i> $0 \leq n \leq 12$
<i>object</i>	<i>null</i>

国際文字を選択します。

対応する国際文字は次の通りです。

- 0 : アメリカ (USA)
- 1 : フランス (France)
- 2 : ドイツ (Germany)
- 3 : イギリス (United Kingdom)
- 4 : デンマーク I (Denmark I)
- 5 : スウェーデン (Sweden)
- 6 : イタリア (Italy)
- 7 : スペイン I (Spain I)
- 8 : 日本 (Japan)
- 9 : ノルウェー (Norway)
- 10 : デンマーク II (Denmark II)
- 11 : スペイン II (Spain II)
- 12 : ラテンアメリカ (Latin America)

この機能を用いた国際文字の変更は**CharacterSet**プロパティが変更されるまで継続します。**CharacterSet**プロパティが変更された場合、既定の値が設定されます。

open メソッド

形式 **void open(String logicalDeviceName) throws JposException;**

logicalDeviceName パラメータは、オープンする論理デバイス名を指定します。
登録されているPOSPrinterデバイスの論理名を指定して実行してください。

説明 デバイスをオープンします。
openメソッドが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

release メソッド

形式 **void release()** throws **JposException;**

説明 デバイスの排他アクセスを解除します。
DeviceEnabledプロパティがtrueならば、デバイスはディセーブルにされます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

resetStatistics メソッド

形式 **void resetStatistics(String statisticsBuffer)** throws **JposException;**

パラメータ	意味
<i>statisticsBuffer</i>	リセットするスタティスティクスを定義したデータバッファです。

statisticsBuffer は名前のカンマ区切りリストで指定します。
空文字列の時はすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。“U_”はUnifiedPOSで定義されたすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。“M_”はベンダ固有のすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。そして“名前1, 名前2” (XMLファイルに定義されているもの) の時は、指定されたリセット可能なスタティスティクスをリセットします。

説明 指定されたスタティスティクスをリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては「付録 B Statistics」を参照してください。
resetStatisticsメソッドは常に同期します。

retrieveStatistics メソッド

形式 **void retrieveStatistics(String[] statisticsBuffer) throws JposException;**

パラメータ	意味
<i>statisticsBuffer</i>	取得するスタティスティクスを定義したデータバッファであり、かつ通知されるスタティスティクスを格納する場所でもあります。

*statisticsBuffer*は名前のカンマ区切りリストで指定します。

空文字列の時はすべてのスタティスティクスを取得します。“U_”はUnifiedPOSで定義されたすべてのスタティスティクスを取得します。“M_”はベンダ固有のすべてのスタティスティクスを取得します。そして“名前1, 名前2”(XMLファイルに定義されているもの)の時は、指定されたスタティスティクスを取得します。

説明 指定されたデバイススタティスティクスを取得します。

retrieveStatisticsメソッドが成功すると、スタティスティクスのXML文字列が返されます。取得するスタティスティクスについては「付録 B Statistics」を参照してください。**retrieveStatistics**メソッドは常に同期で実行されます。

updateFirmware メソッド

形式 **void updateFirmware(String firmwareFileName) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

updateStatistics メソッド

形式 **void updateStatistics(String statisticsBuffer) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

4.3.4 専用メソッド

beginInsertion メソッド

形式 **void beginInsertion(int timeout) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

beginRemoval メソッド

形式 **void beginRemoval(int timeout) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

changePrintSide メソッド

形式 **void changePrintSide(int side) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

clearPrintArea メソッド

形式 **void clearPrintArea() throws JposException;**

説明 **PageModePrintArea**プロパティで定義したページモード印刷領域上の印刷データを消去します。
ページモード領域全体を消去したい場合は、**PageModeArea**プロパティで示される領域と同等の領域を**PageModePrintArea**プロパティに指定し**clearPrintArea**メソッドを呼び出します。
このメソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

cutPaper メソッド

形式 **void cutPaper(int percentage) throws JposException;**

パラメータ	意味
<i>percentage</i>	カットすべき用紙のパーセンテージを指定します。 有効な値は、0から100です。

100が指定された場合はフルカット、1～99の間の範囲が指定された場合、パーシャルカットを実行します。

説明 レシート用紙を切断します。

このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

printNormalや**printImmediate**メソッド呼び出しの際に、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P) を用いても用紙カットを行うことができます。

印刷されずに残っているデータがプリンタバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後にカットを実行します。

rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、**pageModePrint**メソッドによるページモード中は、メソッドが失敗し、カット動作も実行されません。

印字ヘッドとカッタ位置の関係上、印字データ上で用紙カットが行われる場合があります。印字データ上で用紙カットを行いたくない場合は、**RecLinesToPaperCut**プロパティの値分、用紙送りを実行後、このメソッドを呼び出してください。

RP-D10においてプリンタの用紙節約の設定が有効な場合、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) 実行時の改行量は、プリンタの用紙節約の設定で指定した値となります。(**RecLineSpacing**プロパティで指定した値は無視されます。)

ただし、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P) 、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]fP) 、**cutPaper**メソッドのいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。

詳細は、「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

drawRuledLine メソッド

形式 **void drawRuledLine(int station, String positionList, int lineDirection, int lineWidth, int lineStyle, int lineColor) throws JposException;**

説明 本メソッドは、サポートしていません。

endInsertion メソッド

形式 **void endInsertion() throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

endRemoval メソッド

形式 **void endRemoval()** throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

markFeed メソッド

形式 **void markFeed(int type)** throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

pageModePrint メソッド

形式 **void pageModePrint(int control)** throws **JposException**;

control パラメータの値は次の通りです。

値	意味
PTR_PM_PAGE_MODE (1)	ページモードを開始します。
PTR_PM_PRINT_SAVE (2)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを保存します。繰り返し印刷する場合に用います。
PTR_PM_NORMAL (3)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを消去し、ページモードを終了します。
PTR_PM_CANCEL (4)	ページモード印刷領域の印刷データを消去し、何も印刷せずにページモードを終了します。

説明 **PageModeStation** プロパティに指定したステーションを対象として、ページモードを開始/終了します。

control に PTR_PM_PAGE_MODE (1) を指定した場合、ページモードを開始します。その後、PTR_PM_PRINT_SAVE (2)、 PTR_PM_NORMAL (3)、 PTR_PM_CANCEL (4) を指定して **pageModePrint** メソッドが呼び出されるまでの間、**printNormal**、**printBarCode**、**printBitmap**、**printMemoryBitmap** メソッドで印刷データをバッファリングすることができます。（この間に呼び出されたメソッドは、印刷データをバッファリングするだけで、印刷を開始することはありません。また、**AsyncMode** プロパティの設定は、ページモード機能に影響を与えません。それぞれの操作に対して、**OutputID** プロパティが割り当てられることも、**OutputCompleteEvent** が通知されることもありません。）

control に PTR_PM_PRINT_SAVE (2) を指定した場合、ページモードが継続します。**printNormal**、**printBarCode**、**printBitmap**、**printMemoryBitmap** メソッドでバッファリングした印刷データがあれば、それを保存して、印刷します。ページモード領域内に印刷データを追加して、同じレイアウトで印刷したい場合に用います。

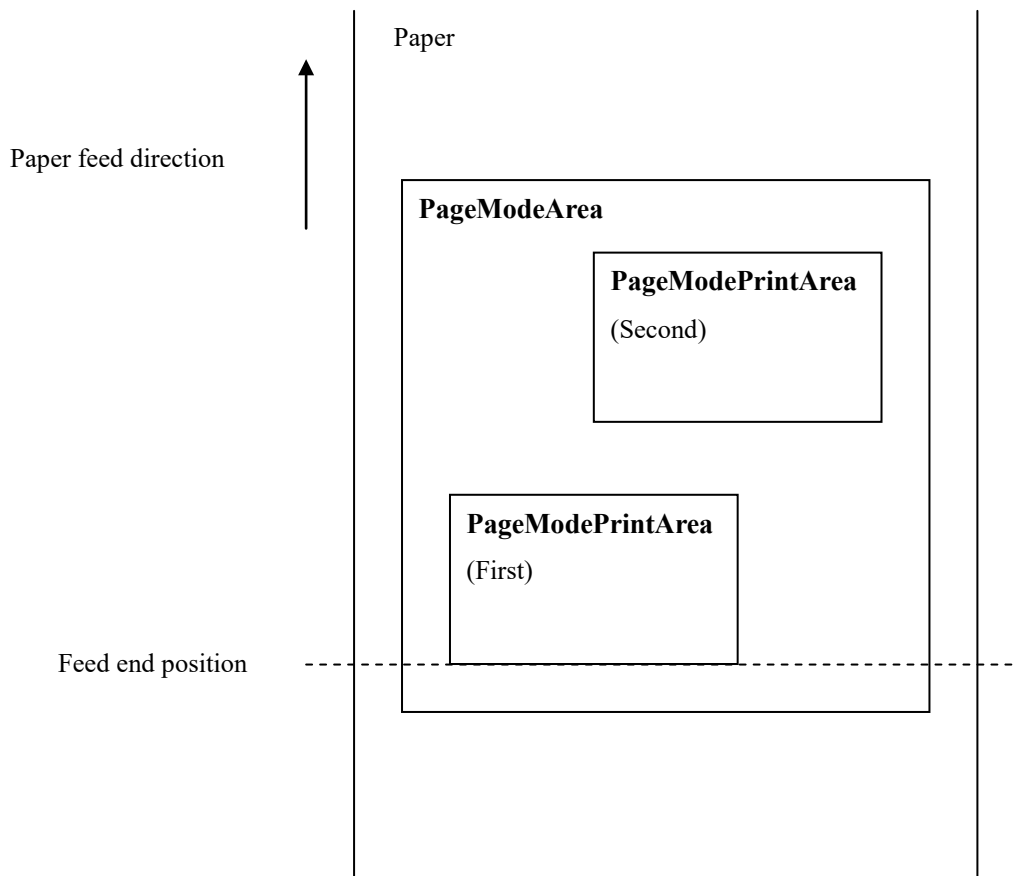
*control*にPTR_PM_NORMAL (3)を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。

printNormal、**printBarCode**、**printBitmap**、**printMemoryBitmap**メソッドでバッファリングした印刷データがあれば、それを印刷します。バッファリングした印刷データは保存されません。

*control*にPTR_PM_CANCEL (4)を指定した場合、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。

printNormal、**printBarCode**、**printBitmap**、**printMemoryBitmap**メソッドでバッファリングした印刷データがあっても、それらは印刷されず、保存もされません。

pageModePrintメソッドが呼び出された時、**PageModePrintArea**プロパティで定義されたページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、ページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。複数のページモード印刷領域が定義されていた場合は、それぞれのページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、最も下方に配置されているページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。(下図を参照してください。)



ページモード領域全体が、1つのトランザクションとして一括処理されます。

AsyncModeプロパティがtrueであれば非同期的に、falseであれば同期的に処理されます。

clearOutputメソッドが呼び出されると、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。このとき、バッファリングした印刷データも消去されます。ページモード機能は、トランザクション印刷の中で利用することはできますが、回転印刷の中で利用することはできません。

このメソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

printBarCode メソッド

形式 **void printBarCode(int station, String data, int symbology, int height, int width, int alignment, int textPosition)** throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。
<i>data</i>	バーコードの文字列を指定します。
<i>symbology</i>	使用されるバーコードタイプを指定します。 下記、 <i>symbology</i> の表を参照してください。
<i>height</i>	バーコードの高さを指定します。 MapMode プロパティで定義された単位で表記します。 PTR_MM_DOTS(1)の場合、1～255の間で指定してください。 QRコードの場合、 <i>height</i> は無視されますが、同様に1～255の間で指定してください。 pageModePrint メソッドによるページモード中は、 PageModePrintArea プロパティと PageModeVerticalPosition プロパティとで指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
<i>width</i>	バーコードの幅を指定します。 MapMode プロパティで定義された単位で表記します。 実際に印刷されるバーコードの幅は、 <i>width</i> で指定された幅に収まる最適なものとなります。PTR_MM_DOTS(1)の場合、正立時は1～ RecLineWidth プロパティの間で指定してください。また RotateSpecial プロパティや、 rotatePrint メソッドによるバーコードの左右90度回転を行う場合、接続機器の最大値を超えない範囲内で指定してください（接続機器の最大値は PageModeArea プロパティ参照）。 pageModePrint メソッドによるページモード中は、 PageModePrintArea プロパティと PageModeHorizontalPosition プロパティとで指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
<i>alignment</i>	バーコードの位置を指定します。 下記、 <i>alignment</i> の表を参照してください。
<i>textPosition</i>	バーコードに印字するテキストの位置を指定します。 下記、 <i>textPosition</i> の表を参照してください。

• *symbology*パラメータの値

値	意味
PTR_BCS_UPCA (101)	UPC-A
PTR_BCS_UPCE (102)	UPC-E
PTR_BCS_EAN8 (103)	EAN8 (JAN8)
PTR_BCS_JAN8 (103)	JAN8 (EAN8)
PTR_BCS_EAN13 (104)	EAN13 (JAN13)
PTR_BCS_JAN13 (104)	JAN13 (EAN13)
PTR_BCS_EAN13_S (119)	EAN13 (JAN13)補足バーコード付き
PTR_BCS_ITF (106)	Interleaved 2 of 5
PTR_BCS_Codabar (107)	Codabar (NW-7)
PTR_BCS_Code39 (108)	Code39
PTR_BCS_Code93 (109)	Code93
PTR_BCS_Code128 (110)	Code128
PTR_BCS_PDF417 (201)	PDF417
PTR_BCS_QRCODE (204)	QRコード (混合モード)

• *alignment*パラメータの値

値	意味
PTR_BC_LEFT (-1)	左寄せ
PTR_BC_CENTER (-2)	センタリング
PTR_BC_RIGHT (-3)	右寄せ
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。 MapMode プロパティで定義された単位で表記します。

RotateSpecialプロパティ、**rotatePrint**メソッドによる左右90度回転中、**pageModePrint**メソッドによるページモード中は*alignment*パラメータの設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

• *textPosition*パラメータの値

値	意味
PTR_BC_TEXT_NONE (-11)	テキストは印字しません。バーコードのみ印刷します。
PTR_BC_TEXT_ABOVE (-12)	バーコードの上にテキストを印字します。
PTR_BC_TEXT_BELOW (-13)	バーコードの下にテキストを印字します。

説明

指定したプリンタにバーコードを印刷します。

このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

RotateSpecialプロパティがバーコードを回転することを示していれば、バーコードは回転印刷されます。*height*、*width*、*textPosition*パラメータは回転前にバーコードに適用されます。例えば、PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)が指定されると、バーコードは左に回転され、それから、テキストがバーコードの右側に印刷されます。

以下、**MapMode**プロパティがPTR_MM_DOTS(1)の場合、各バーコードのパラメータに対する制限事項について示します。

【PTR_BCS_UPCA(101)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0' ~ '9' を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
<i>width</i>	$width = 113 \times X$ $226 \leq width \leq 678$ X : 細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_UPCE(102)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0' ~ '9' を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
<i>width</i>	$width = 65 \times X$ $130 \leq width \leq 390$ X : 細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

許容キャラクタは更に以下の規則に沿う必要があります。

1. 先頭文字が'0'
2. UPC-Aレフトコードは、先頭2～6キャラクタ、UPC-Aライトコードは、先頭7～11キャラクタ目を示し、短縮されるコードが実際にUPC-Eとして印字されます。UPC-A先頭キャラクタが0以外か、下記の表に基づかないキャラクタが指定された場合、JPOS_E_ILLEGAL(106)がスローされます。

メーカーコード UPC-Aのレフトコード					アイテムコード UPC-Aのライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

【PTR_BCS_EAN8(103)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0'～'9'を7文字あるいは8文字で指定してください。 8文字目はバーコードの印字データに影響しません。
<i>width</i>	$width=81 \times X$ $162 \leq width \leq 486$ X：細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_JAN13(104)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0'～'9'を12文字あるいは13文字で指定してください。 13文字目はバーコードの印字データに影響しません。
<i>width</i>	$width=113 \times X$ $226 \leq width \leq 678$ X：細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_EAN13_S(119)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0'～'9'を14文字、15文字、17文字、18文字のいずれかで指定してください。 15文字の入力、または18文字で入力した場合は、13番値の文字データは、印字データに影響しません。
<i>width</i>	14文字、または、15文字の場合 $width=138 \times X$ $276 \leq width \leq 828$ 17文字、または、18文字の場合 $width=165 \times X$ $330 \leq width \leq 990$ X：細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_ITF(106)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0'～'9'を任意の値で指定してください。ただし、指定する文字数は0を除く偶数である必要があります。
<i>width</i>	$width = ((D \times 2 + 1) \times X \times N + ((D \times 3) + 6 + (10 \times 2)) \times X)$ $(14 \times D + 56) \leq width \leq (54 \times D + 174)$ D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X, Nは <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_Codabar(107)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	先頭と後尾は'A'～'D'のいずれかを指定してください。 それ以外のデータは、'0'～'9'、'\$'、'+',':','-','.','/'のいずれかを1文字以上指定する必要があります。
<i>width</i>	$width = ((6 \times X + 2 \times X \times N) \times D) + ((X \times N - X) \times D') + (X \times (10 \times 2 - 1))$ $(20 \times D + 2 \times D' + 38) \leq width \leq (72 \times D + 12 \times D' + 114)$ D: バーコードキャラクタ数 D': データキャラクタ数(バーコードデータに含まれる'A'～'D'、'+',':','-','/'の数) X: 細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ N: 太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X, Nは<i>width</i>に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_Code39(108)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	'0'～'9'、'A'～'Z'、',','\$','%','+','-','.','/'のいずれかを1文字以上指定する必要があります。
<i>width</i>	$width = ((X \times 7) + (X \times N \times 3)) \times (D + 2) + ((10 \times 2 - 1) \times X)$ $(26 \times D + 90) \leq width \leq (96 \times D + 306)$ D: バーコードキャラクタ数 X: 細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ N: 太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X, N は<i>width</i>に応じて自動で設定されます。

【PTR_BCS_Code93(109)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	10進数0～46の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。
<i>width</i>	$width = X \times ((10 \times 2) + ((D + 2 + 2) \times 9) + 1)$ $(18 \times D + 114) \leq width \leq (54 \times D + 342)$ D: バーコードキャラクタ数 X: 細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは<i>width</i>に応じて自動で設定されます。

Code93のキャラクタ構成

数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ
0	0	12	C	24	O	36	－
1	1	13	D	25	P	37	.
2	2	14	E	26	Q	38	SPACE
3	3	15	F	27	R	39	\$
4	4	16	G	28	S	40	/
5	5	17	H	29	T	41	+
6	6	18	I	30	U	42	%
7	7	19	J	31	V	43	(\$)
8	8	20	K	32	W	44	(%)
9	9	21	L	33	X	45	(/)
10	A	22	M	34	Y	46	(+)
11	B	23	N	35	Z		

【PTR_BCS_Code128(110)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	10進数0～105の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。 先頭の1文字は10進数103、104、105で、その後1文字以上のデータを指定する必要があります。
<i>width</i>	$width = X \times ((10 \times 2) + ((D+2) \times 11) + 2)$ $(22 \times D + 88) \leq width \leq (66 \times D + 264)$ D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 $2 \leq X \leq 6$ Xは、 <i>width</i> に応じて自動で設定されます。

Code128のキャラクタ構成

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
0	SPACE	SPACE	00	53	U	U	53
1	!	!	01	54	V	V	54
2	"	"	02	55	W	W	55
3	#	#	03	56	X	X	56
4	\$	\$	04	57	Y	Y	57
5	%	%	05	58	Z	Z	58
6	&	&	06	59	[	[	59
7	,	,	07	60	\	\	60
8	(	(	08	61	]	]	61

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
9	)	)	09	62	^	^	62
10	*	*	10	63	_	_	63
11	+	+	11	64	NULL	`	64
12	,	,	12	65	SOH	a	65
13	-	-	13	66	STX	b	66
14	.	.	14	67	ETX	c	67
15	/	/	15	68	EOT	d	68
16	0	0	16	69	ENG	e	69
17	1	1	17	70	ACK	f	70
18	2	2	18	71	BEL	g	71
19	3	3	19	72	BS	h	72
20	4	4	20	73	HT	i	73
21	5	5	21	74	LF	j	74
22	6	6	22	75	VT	k	75
23	7	7	23	76	FF	l	76
24	8	8	24	77	CR	m	77
25	9	9	25	78	SO	n	78
26	:	:	26	79	SI	o	79
27	;	;	27	80	DLE	p	80
28	<	<	28	81	DC1	q	81
29	=	=	29	82	DC2	r	82
30	>	>	30	83	DC3	s	83
31	?	?	31	84	DC4	t	84
32	@	@	32	85	NAK	u	85
33	A	A	33	86	SYN	v	86
34	B	B	34	87	ETB	w	87
35	C	C	35	88	CAN	x	88
36	D	D	36	89	EM	y	89
37	E	E	37	90	SUB	z	90
38	F	F	38	91	ESC	{	91
39	G	G	39	92	FS		92
40	H	H	40	93	GS	}	93
41	I	I	41	94	RS	~	94
42	J	J	42	95	US	DEL	95
43	K	K	43	96	FNC3	FNC3	96
44	L	L	44	97	FNC2	FNC2	97
45	M	M	45	98	SHIFT	SHIFT	98

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
46	N	N	46	99	CODE C	CODE C	99
47	O	O	47	100	CODE B	FNC4	CODE B
48	P	P	48	101	FNC4	CODE A	CODE A
49	Q	Q	49	102	FNC1	FNC1	FNC1
50	R	R	50	103	START (CODE A)		
51	S	S	51	104	START (CODE B)		
52	T	T	52	105	START (CODE C)		

【PTR_BCS_PDF417 (201)】

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	00H～7FHまではASCIIコードに従い、80H～FFHまではPC437の英語表の拡張キャラクタセットに従う文字列である必要があります。
<i>width</i>	$width = (17 \times C + 69) \times X + (X \times 4)$ $(180 \leq width)$ $Height = R \times Y + (X \times 4)$ $(14 \leq Height \leq 255)$ X : モジュール幅 (2～4) Y : モジュール高さ (2～127) C : 縦列数 (1～30) R : 行数 (3～90) 行数・縦列数は、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。モジュール幅・モジュール高さは、行数・縦列数が決まった後、 <i>width</i> 、 <i>height</i> パラメータを越えない最大サイズが選択されます。

印字モードは通常モード、エラー訂正レベルは4固定となります。

パラメータ	制限事項
<i>data</i>	数字モード、英数字モード、8ビットバイトモード、漢字モードの任意のモードの組み合わせによる文字列です。 各モードにおいて扱うことの出来る文字列は以下の通りです。 ・数字モード：0個の数字('0' ~ '9') ・英数字モード：10個の数字('0' ~ '9')、26個のアルファベット('A' ~ 'Z')、9個の記号(スペース、'\$'、'%','&','+', '-', '.', ':', '/', ') ・8ビットバイトモード：JIS X 0201(ASCII値00H~FFH)に基づく8ビットラテン/カナ文字 ・漢字モード：JIS X 0208に基づくシフトJISコード
<i>width</i>	$width = (4V + 17) \times M + (4M \times 2)$ $(58 \leq width)$ V : QRコードのバージョン (1~40) M : モジュールサイズ (2~11) バージョンは、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。 また、モジュールサイズは、バージョンが決まった後、 <i>width</i> パラメータを超えない最大サイズが選択されます。

QRコードのモデルは2固定、誤り訂正レベルはM固定とします。QRコードは正方形なので、印字サイズは*width*に従うものとし、*height*は無視します。
 印字可能キャラクタ以外のデータが指定された場合、JPOS_E_ILLEGAL(106)がスローされます。

printBitmap メソッド

形式 **void printBitmap(int station, String fileName, int width, int alignment)** throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。
<i>fileName</i>	ビットマップファイル名を指定します。 対応イメージファイルは下記を参照してください。
<i>width</i>	ビットマップの印刷幅を指定します。 下記の値を参照してください。
<i>alignment</i>	ビットマップの印刷位置を指定します。 下記の値を参照してください。

・対応ビットマップファイル

項目	仕様
拡張子	bmp
型式	Windows Bitmap
カラー	1、4、8、24、32ビット

項目	仕様
圧縮形式	非圧縮型のみ

・ *width* パラメータの値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンタのドット当たり1ピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅をMapModeプロパティで定義された単位で表記します。 MapModeプロパティがPTR_MM_DOTS(1)の場合、1～RecLineWidthプロパティの範囲で指定してください。また、rotatePrintメソッドによるビットマップの左右90度回転を行う場合、接続機器の最大値を超えない範囲内で指定してください。 (接続機器の最大値はPageModeAreaプロパティ参照) pageModePrintメソッドによるページモード中は、PageModePrintAreaプロパティとPageModeHorizontalPositionプロパティとで指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

・ *alignment* パラメータの値

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せで印刷されます。
PTR_BM_CENTER(-2)	中央揃えで印刷されます。
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ印刷されます。
その他	左端から設定された値分のマージンをとって印刷されます。 MapModeプロパティで定義された単位で表記します。

rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、**pageModePrint**メソッドによるページモード中は*alignment*パラメータの設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

説明

指定したステーションにビットマップを印刷します。

printBitmapメソッドは呼び出された時点でビットマップデータをプリンタに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**setBitmap**メソッドとエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。

送信済みかつ未印字の文字データがあった場合、文字データを印刷し自動的に改行された後、次の行にビットマップが印刷されます。**printBitmap**メソッドより後に送信された文字データは、ビットマップの次の行から印字されます。

このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

*width*パラメータはビットマップの変換をコントロールします。もし、*width*がPTR_BM_ASIS(-11)ならば、変換は実行されません。ビットマップはプリンタドット当たり1ピクセルで印刷されます。

もし*width*が0でなければ、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより、変換されます。

printImmediate メソッド

形式 **void printImmediate(int station, String data) throws JposException;**

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT (2) のみです。
<i>data</i>	印刷される文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) から成ります。

説明 デバイスに *data* を直ちに印刷します。
一行の最大文字数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。このメソッドは、**pageModePrint**メソッド、**rotatePrint**メソッド、**transactionPrint**メソッドによるバッファリングは行なわれず、直ちに印刷を実行します。
印刷されずに残っているデータがプリンタバッファに存在する場合、バッファリングされたデータを全て印刷した後に印刷を実行します。

data 内の特別なキャラクタの値と意味は、以下の通りです。

値	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン (CR) はラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード (LF) の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン (CR) は無視されます。ラインフィード (LF) の動作を1回行います。

RP-D10において用紙節約の設定が有効な場合、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) 実行時の改行量は、用紙節約の設定で指定した値となります。(**RecLineSpacing** プロパティで指定した値は無視されます。)

ただし、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P)、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]fP)、**cutPaper**メソッドのいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。

詳細は、「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

printMemoryBitmap メソッド

形式 **void printMemoryBitmap(int station, byte[] data, int type, int width, int alignment)**
throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT (2) のみです。
<i>data</i>	ビットマップデータを保持しているバイト配列を指定します。 対応イメージファイルは printBitmap メソッドを参照してください。
<i>type</i>	ビットマップの形式。 <i>data</i> パラメータで示されたデータのフォーマットはPTR_BMT_BMP (1) のみサポートします。
<i>width</i>	ビットマップの印刷幅を指定します。 値は printBitmap メソッドを参照してください。
<i>alignment</i>	ビットマップの印刷位置を指定します。 値は printBitmap メソッドを参照してください。

説明 指定したステーションにビットマップを印刷します。
動作仕様は**printBitmap**メソッドを参照してください。
このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同時期に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

printNormal メソッド

形式 **void printNormal(int station, String data)** throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT (2) のみです。
<i>data</i>	印刷される文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) から成ります。

説明 デバイスに*data*を印刷します。
最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。
印刷されずに残っているデータがプリンタバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後に印刷を実行します。
このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、以下の通りです。

値	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン (CR) はラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード (LF) の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン (CR) は無視されます。ラインフィード (LF) の動作を1回行います。

RP-D10において用紙節約の設定が有効な場合、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) 実行時の改行量は、用紙節約の設定で指定した値となります。(**RecLineSpacing** プロパティで指定した値は無視されます。)

ただし、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P)、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]fP)、**cutPaper**メソッドのいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。

詳細は、「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

printTwoNormal メソッド

形式 **void printTwoNormal(int station, String data1, String data2) throws JposException;**

説明 本メソッドはサポートしていません。

rotatePrint メソッド

形式 **void rotatePrint(int station, int rotation);**

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。
<i>rotation</i>	回転方向を指定します。下記の値を参照してください。

• *rotation*パラメータの値

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	回転印刷の終了。
PTR_RP_RIGHT90(257)	右に90度回転（時計回りに）印刷の開始。
PTR_RP_LEFT90(258)	左に90度回転（時計と反対回りに）印刷の開始。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180度回転印刷、つまり、倒立印字の開始。
PTR_RP_BARCODE(4096)	回転バーコード印刷の開始。 この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。
PTR_RP_BITMAP(8192)	回転ビットマップ印刷の開始。 この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。

回転印刷を行います。

このメソッドは、**AsyncMode**プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode**プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

*rotation*がPTR_RP_ROTATE180(259)ならば、倒立印刷モードが開始されます。**rotatePrint**メソッドが*rotation*パラメータをPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**printNormal**と**printImmediate**メソッドの呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行はプリンタに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンタの右マージンに合わされます。

PTR_RP_BARCODE(4096)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBarCode**メソッドによるバーコード印字は倒立されて印字されます。また、PTR_RP_BITMAP(8192)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBitmap**メソッドによるビットマップ印字は倒立されて印字されます。

*rotation*がPTR_RP_RIGHT90(257)またはPTR_RP_LEFT90(258)ならば、横書きモードが開始されます。**rotatePrint**メソッドが*rotation*パラメータをPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**printNormal**メソッドの呼び出しによるデータはバッファリングされます。また、**AsyncMode**プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputID**プロパティは割り当てられませんし、**OutputCompleteEvent**も通知しません。

各印刷行は、90度に回転されます。もし、行がすべて同じ長さでなければ、各行の先頭位置が合わされます。

PTR_RP_BARCODE(4096)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBarCode**メソッドによるバーコード印字はバッファリングされます。また、PTR_RP_BITMAP(8192)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBitmap**メソッドによるビットマップ印字はバッファリングされます。*rotation*にPTR_RP_NORMAL(1)が含まれている場合には、回転印刷モードは終了します。もし、横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが**printNormal**メソッドによってバッファリングされていたならば、そのバッファリングされたデータは印刷されます。

*rotation*がPTR_RP_BARCODE(4096)ならば、**RotateSpecial**プロパティの内容は無視されます。

clearOutputメソッドを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止されます。

いかなるバッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

横書きモードにおける最大幅は2400ドットです。1行あたりの印字データがこの領域を超える場合は、次行へ改行されて印字されます。

回転モード中に**printNormal**メソッドに対して、「バーコード印刷」エスケープシーケンス(ESC|#R)、または「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス(ESC|#B)によるビットマップ印刷及びバーコード印刷を指定した場合、*rotation*パラメータにPTR_RP_BARCODE(4096)及びPTR_RP_BITMAP(8192)が論理和として指定されているいにかかわらず、回転します。

setBitmap メソッド

形式 **void setBitmap(int bitmapNumber, int station, String fileName, int width, int alignment)**
throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>bitmapNumber</i>	このビットマップに割り当てられる番号を指定します。 有効な値は、1から20です。
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです
<i>fileName</i>	ビットマップファイル名を指定します。 もし、空文字列が設定されれば、ビットマップは設定解除 されます。 対応イメージファイルは printBitmap メソッド参照してください。
<i>width</i>	ビットマップの印刷幅を指定します。 下記の値を参照してください。
<i>alignment</i>	ビットマップの印刷位置を指定します。 値は printBitmap メソッド参照してください。

・ *width*パラメータの値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンタのドット当たり1ビットマップピクセルで、ビット マップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。 MapMode プロパティで定義された単位で 表記します。 MapMode プロパティがPTR_MM_DOTS(1)の場合、 1～ RecSidewaysMaxLines プロパティの範囲で指定してくだ さい。

ビットマップ幅の値は、POSPrinterデバイス内部で8の倍数に切り上げられます。変換後の値が印刷領域を超えない範囲でビットマップ幅を指定してください。

説明 印刷するビットマップに関する情報を保存します。
ビットマップは、印刷データ内に「ビットマップ印刷」のエスケープシーケンス
(ESC|#B)をもつ**printNormal**あるいは**printImmediate**メソッドを呼ぶことによって印刷
することができます。「ビットマップ印刷」のエスケープシーケンス (ESC|#B) は、初
めと終わりの処理ヘッダーを印刷するための文字列を通常含んでいます。
「ビットマップ印刷」のエスケープシーケンス (ESC|#B) より前に送信された未印字の
文字データがあった場合、文字データを印字し自動的に改行した後、ビットマップを印
刷します。「ビットマップ印刷」のエスケープシーケンス (ESC|#B) より後に送信され
た文字データは、ビットマップの次の行に印刷します。
POSPrinterデバイスはプリンタのNVグラフィックス領域にビットマップデータをダウ
ンロードして、印刷に備えます。エスケープシーケンスによりビットマップの印刷が指
定された時には印刷を指示するコマンドだけが送信されるので、最適なパフォーマンス
が得られます。

setLogo メソッド

形式 **void setLogo(int location, String data) throws JposException;**

パラメータ	意味
<i>location</i>	設定するロゴを指定します。 PTR_L_TOP(1)またはPTR_L_BOTTOM(2)のみ有効です。
<i>data</i>	ロゴを作る文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) から成ります。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、以下の通りです。

値	意味
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン (CR) はラインフィード (LF) と同じ動作に置き換えられます。 よって、ラインフィード (LF) の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン (CR) は無視されます。 ラインフィード (LF) の動作を1回行います。

RP-D10において用紙節約の設定が有効な場合、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) 実行時の改行量は、用紙節約の設定で指定した値となります。(RecLineSpacing プロパティで指定した値は無視されます。)

ただし、キャリッジリターン (CR)、ラインフィード (LF) によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]P)、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス (ESC|[#]fP)、**cutPaper**メソッドのいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。

詳細は、「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

説明 データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。
プリントデータ内に、「トップロゴ印刷」エスケープシーケンス (ESC|tL) あるいは「ボトムロゴ印刷」のエスケープシーケンス (ESC|bL) を含んだ**printNormal**あるいは**printImmediate**メソッドを呼ぶことによって、ロゴは印刷されます。
本メソッドで登録される*data*は、メソッドを実行した時点の**CharacterSet**プロパティのキャラクタセットでデータを保持します。**CharacterSet**プロパティを932に設定した時に、**setLogo**メソッドにおいて漢字を含むデータを登録すると、**CharacterSet**プロパティを999に設定した後エスケープシーケンスで印字を行う場合でも漢字が印字されます。

transactionPrint メソッド

形式 **void transactionPrint(int station, int control) throws JposException;**

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT (2) のみです。
<i>control</i>	一括処理の種類を指定します。値は以下を参照してください。

• *control*パラメータの値

値	意味
PTR_TP_TRANSACTION (11)	一括処理を開始します。
PTR_TP_NORMAL (12)	バッファデータを印刷して一括処理を終了します。

説明

一括処理モードを行います。

*control*がPTR_TP_TRANSACTION (11) ならば、一括処理モードに入ります。その後の **printNormal**、**cutPaper**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap**、**pageModePrint** メソッドへの呼び出しは、*control*パラメータにPTR_TP_NORMAL (12) をセットして **transactionPrint** メソッドが呼び出されるまで、印刷データをバッファリングします。**AsyncMode** プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に **OutputID** プロパティは割り当てられませんかし、**OutputCompleteEvent** も通知しません。

*control*がPTR_TP_NORMAL (12) ならば、一括処理モードを抜けます。

printNormal、**cutPaper**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap**、**pageModePrint** メソッドによりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は、一つのメッセージとして処理されます。

このメソッドは、**AsyncMode** プロパティがfalseならば、同期的に実行され、**AsyncMode** プロパティがtrueならば、非同期的に実行されます。

clearOutput メソッドを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

validateData メソッド

形式 **void validateData**(int *station*, **String** *data*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
<i>station</i>	使用するステーションを指定します。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT (2) のみです。
<i>data</i>	判定されるデータを指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン (CR) 、ラインフィード (LF) から成ります。

説明 **printNormal**、**printImmediate** メソッドを呼び出す前に呼び出し、指定したステーションにとって、一つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定します。
このメソッドは、全く印刷しませんが、そのステーションの能力を判定するために使用されます。
有効でない場合、例外エラーを通知します。

4.3.5 イベント

DirectIOEvent イベント

インターフェース **jpos.events.DirectIOListener**

形式 **directIOOccurred(DirectIOEvent e);**

説明 本イベントはサポートしていません。

ErrorEvent イベント

インターフェース **jpos.events.ErrorListener**

形式 **errorOccurred(ErrorEvent e);**

ErrorEventは次のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
<i>ErrorCode</i>	int	エラーイベントを起こした要因のコード。
<i>ErrorCodeExtended</i>	int	エラーイベントを起こした要因の拡張コード。
<i>ErrorLocus</i>	int	エラーイベントの発生場所。
<i>ErrorResponse</i>	int	エラーイベント応答へのポインタ。

*ErrorCode*パラメータは次の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
JPOS_E_EXTENDED(114)	拡張エラーが発生しました。 <i>ErrorCodeExtended</i> パラメータを参照してください。

*ErrorCode*パラメータがJPOS_E_EXTENDED(114)の場合、*ErrorCodeExtended*パラメータは次の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
EPTR_COVER_OPEN(201)	プリンタカバーが開いています。
EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
1001	Vp電圧エラーが発生しました。
1002	オートカッタエラー発生しました。
1005	ヘッド温度エラーが発生しました。
1010	復帰不可能エラーが発生しました。

*ErrorLucus*パラメータは次の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
JPOS_EL_OUTPUT (1)	非同期処理の実行中にエラーが発生しました。

*ErrorResponse*パラメータはアプリケーションにより、次に示す値の内の一つに設定することができます。初期値はJPOS_ER_RETRY (11) です。

値	意味
JPOS_ER_RETRY (11)	エラー状態から抜け、非同期出力を再び試みます。
JPOS_ER_CLEAR (12)	エラー状態から抜け、非同期出力を削除します。

説明 エラーが検出されたことをアプリケーションに通知します。

OutputCompleteEvent イベント

インターフェース **jpos.events.OutputCompleteListener**

形式 **outputCompleteOccurred (OutputCompleteEvent e) ;**

OutputCompleteEventは次のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
<i>OutputID</i>	int	完了した非同期出力のリクエストのID番号。

説明 非同期出力リクエストが正常に終了した時に通知します。

StatusUpdateEvent イベント

インターフェース **jpos.events.StatusUpdateListener**

形式 **statusUpdateOccurred (StatusUpdateEvent e) ;**

StatusUpdateEventは次のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
<i>Status</i>	int	プリンタの状態。

*Status*プロパティは次の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
PTR_SUE_COVER_OPEN (11)	プリンタカバーが開いています。
PTR_SUE_COVER_OK (12)	プリンタカバーが閉じています。
PTR_SUE_REC_EMPTY (24)	レシート用紙がありません。
PTR_SUE_REC_NEAREMPTY (25) *1	レシート用紙がニアエンドです。
PTR_SUE_REC_PAPEROK (26)	レシート用紙が用意できました。

値	意味
PTR_SUE_IDLE(1001)	すべての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。 このイベントが通知されるとき、 State プロパティは必ずJPOS_S_IDLE(2)です。 FlagWhenIdle プロパティをtrueにすることで、このイベントは通知されます。 POSPrinterデバイスはすべての非同期出力が、成功するか、または削除されると FlagWhenIdle プロパティをfalseに更新してイベントが通知します。
JPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)*2	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
JPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)*2	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

*1: RP-E10のみ対応しています。

*2: **PowerNotify** = JPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知されます。

説明 デバイス側に重要な状態の変化が起こった時にデバイスの状態を通知します。
デバイスがイネーブルになったとき、POSPrinterデバイスは最初の**StatusUpdateEvent**を通知します。

5章 CashDrawer

5.1 一覧

5.1.1 共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapCompareFirmwareVersion	boolean	R	open	false
CapPowerReporting	int	R	open	JPOS_PR_STANDARD(1)
CapStatisticsReporting	boolean	R	open	false
CapUpdateFirmware	boolean	R	open	false
CapUpdateStatistics	boolean	R	open	false
CheckHealthText	String	R	open	""
Claimed	boolean	R	open	false
DeviceEnabled	boolean	R/W	open	false
FreezeEvents	boolean	R/W	open	false
PowerNotify	int	R/W	open	JPOS_PN_DISABLED(0)
PowerState	int	R	open	JPOS_PS_UNKNOWN(2000)
State	int	R	open	JPOS_S_CLOSED(1)
DeviceControlDescription	String	R	-	"JavaPOS CashDrawer Device Control"
DeviceControlVersion	int	R	-	"1013000"
DeviceServiceDescription	String	R	open	"SII RP Series JavaPOS Cash Drawer Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
DeviceServiceVersion	int	R	open	"1013000"
PhysicalDeviceDescription	String	R	open	"SII RP-D10 Cash Drawer"*1
				"SII RP-E10 Cash Drawer"*2
PhysicalDeviceName	String	R	open	"RP-D10 Cash Drawer"*1
				"RP-E10 Cash Drawer"*2

*1 : RP-D10 使用時

*2 : RP-E10 使用時

5.1.2 専用プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapStatus	boolean	R	open	true
CapStatusMultiDrawerDetect	boolean	R	open	false
DrawerOpened	boolean	R	open & enable	ドロワの状態に依存

5.1.3 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
checkHealth	open & enable
claim	open
close	open
compareFirmwareVersion	open, claim, & enable
directIO	open
open	—
release	open & claim
resetStatistics	open, claim, & enable
retrieveStatistics	open, claim, & enable
updateFirmware	open, claim, & enable
updateStatistics	open, claim, & enable

5.1.4 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
openDrawer	open & enable
waitForDrawerClose	open & enable

5.1.5 イベント

イベント名	使用可能条件
DirectIOEvent	open & enable
StatusUpdateEvent	open & enable

5.2 詳細

CashDrawerデバイスの提供する機能詳細について示します。
スローされる例外エラーについては「付録 A 例外」を参照してください。

5.2.1 共通プロパティ

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

型 **boolean**

説明 ファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

型 **int**

説明 デバイスの通知能力を識別します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PR_STANDARD(1)	JPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)（電源オフまたはオフライン）とJPOS_PS_ONLINE(2001)の2種類の電源状態を判断し通知が可能です。

このプロパティは**open**メソッドによりJPOS_PR_STANDARD(1)に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	このデバイスに関する有効なスタティスティクスはありません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

型 **boolean**

説明 ファームウェアのアップデート機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドにより false に初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	リセットまたは変更できるスタティスティクスはありません。

このプロパティは**open**メソッドにより false に初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

型 **String**

説明 直前に呼び出した**checkHealth**メソッドの結果を保持します。
以下に診断結果の例を示します。

値	意味
"Internal HCheck: Successful"	ドロワと通信可能な状態であることを確認しました。
"Internal HCheck: Failure"	ドロワと通信可能な状態であることを確認できません。
"External HCheck: Successful"	ドロワとの通信確認とドロワのオープンに成功しました。
"External HCheck: Failure"	ドロワとの通信確認、またはドロワのオープンに失敗しました。
"Interactive HCheck: Successful"	デバイスとの対話テストに成功しました。
"Interactive HCheck: Failure"	デバイスとの対話テストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Canceled"	デバイスとの対話テストにおいて、一度もテストをせずにダイアログを閉じました。

このプロパティは**open**メソッドにより空文字列に初期化されます。

Claimed プロパティ

型 **boolean**

説明 デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスは、ほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。
true	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 デバイスの有効/無効を選択します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはディセーブルにされています。 falseに変更すると、ディセーブルにされます。
true	デバイスはイネーブルにされています。（動作状態です。） trueに変更するとイネーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションはこのプロパティをtrueに設定しなければなりません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

FreezeEvents プロパティ R/W

型 **boolean**

説明 イベントの通知/非通知を選択します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	アプリケーションは、イベントの通知を許可しています。凍結中に保持されていたイベントがあり、イベントを通知するすべての条件が調った場合、 FreezeEvents をfalseに変更すると、イベントが通知されます。
true	イベントは通知されません。 FreezeEvents がfalseに変更されるまで、イベントはキューイングされます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

PowerNotify プロパティ R/W

型 **int**

説明 アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PN_DISABLED (0)	Cash Drawerクラスはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する StatusUpdateEvents は通知されず、また、 PowerState プロパティにも何も設定されません。
JPOS_PN_ENABLED (1)	DeviceEnabled プロパティがtrueに設定されると、Cash Drawerクラスは電源通知に関する StatusUpdateEvents の通知、 PowerState プロパティの更新を行います。 機能レベルは、 CapPowerReporting プロパティの値に依存します。

PowerNotifyプロパティは、デバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**プロパティがfalseの間のみ設定が可能です。

このプロパティは**open**メソッドにより JPOS_PN_DISABLED (0) に初期化されます。

PowerState プロパティ

型 **int**

説明 電源状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PS_UNKNOWN (2000)	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 • PowerNotifyプロパティがJPOS_PN_DISABLED (0) です。 • DeviceEnabledプロパティがfalseです。
JPOS_PS_ONLINE (2001)	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
JPOS_PS_OFFOFFLINE (2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

このプロパティは**open**メソッドにより JPOS_PS_UNKNOWN (2000) に初期化されます。

State プロパティ

型 **int**

説明 デバイスの現在の状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_S_CLOSED (1)	デバイスはクローズしています。
JPOS_S_IDLE (2)	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。

このプロパティはいつでも読取り可能です。
このプロパティは**open**メソッドが成功するまでは、JPOS_S_CLOSED (1) を返します。

DeviceControlDescription プロパティ

型 **String**

説明 "JavaPOS CashDrawer Device Control"が設定されています。
このプロパティはDevice Control情報を示します。
このプロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceControlVersion プロパティ

型 **String**

説明 "1013000"が設定されています。
このプロパティはDevice Controlのバージョン番号を示します。
このプロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceServiceDescription プロパティ

型 **String**

説明 このプロパティはDevice Service情報を示します。
openメソッドにより"SII RP Series JavaPOS Cash Drawer Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."に初期化されます。

DeviceServiceVersion プロパティ

型 String

説明 このプロパティはDevice Serviceのバージョン番号を示します。
openメソッドにより"1013000"に初期化されます。

PhysicalDeviceDescription プロパティ

型 String

説明 デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティはプリンタによって異なります。
openメソッドにより、次に示す値の内の一つが設定されます。

プリンタ	値
RP-D10	"SII RP-D10 Cash Drawer"
RP-E10	"SII RP-E10 Cash Drawer"

PhysicalDeviceName プロパティ

型 String

説明 デバイスとそれに関連する情報を示します。
このプロパティはプリンタによって異なります。
openメソッドにより次に示す値の内の一つが設定されます。

プリンタ	値
RP-D10	"RP-D10 Cash Drawer"
RP-E10	"RP-E10 Cash Drawer"

5.2.2 専用プロパティ

CapStatus プロパティ

型 **boolean**

説明 ドロワの開閉状態の通知機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ドロワの開閉状態を通知することができます。

このプロパティは**open**メソッドによりtrueに初期化されます。

CapStatusMultiDrawerDetect プロパティ

型 **boolean**

説明 複数ドロワ構成のとき、各ドロワ個別の開閉状態を通知する機能を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	複数ドロワ構成のとき、各ドロワ個別の開閉状態を通知する機能はサポートしていません。

このプロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

DrawerOpened プロパティ

型 **boolean**

説明 ドロワの開閉状態を示します。
このプロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ドロワは閉じています。
true	ドロワは開いています。

このプロパティは、JposEntryの**DrawerOpenStatus**プロパティに依存します。

- ・ JposEntryの**DrawerOpenStatus**プロパティが"Low"に設定されている場合
センサの状態が"Low"のとき、このプロパティはtrueを示します。
- ・ JposEntryの**DrawerOpenStatus**プロパティが"High"に設定されている場合
センサの状態が"High"のとき、このプロパティはtrueを示します。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

5.2.3 共通メソッド

checkHealth メソッド

形式 **void checkHealth(int level) throws JposException;**

*level*パラメータは、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。
以下の値を指定できます。

値	意味
JPOS_CH_INTERNAL (1)	デバイスを物理的に使用しないヘルスチェックを実行します。
JPOS_CH_EXTERNAL (2)	デバイスを使用して完全なテストを実行します。 ドロワを開くを試みます。 他のアプリケーションから排他アクセスされている場合、本メソッドは失敗します。
JPOS_CH_INTERACTIVE (3)	デバイスとの対話テストを実行します。 本ソフトウェアは、モーダルダイアログボックスを表示して、指定したドロワを開きます。

説明 デバイスの状態をテストします。
このメソッドの結果は**CheckHealthText**プロパティに格納されます。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

claim メソッド

形式 **void claim(int timeout) throws JposException;**

*timeout*パラメータは、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を示します。
0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに返します。
JPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで待ちます。

説明 デバイスに対して排他アクセスを要求します。
CashDrawerデバイスは共有可能デバイスなので、排他アクセス権の取得は必須ではありません。
成功すると、**Claimed**プロパティはtrueに設定されます。
電源OFFまたはケーブル切断時は、本メソッドは失敗します。

close メソッド

形式 **void close()** throws **JposException**;

説明 デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledプロパティがtrueの場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
Claimedプロパティがtrueの場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

compareFirmwareVersion メソッド

形式 **void compareFirmwareVersion(String firmwareFileName)** throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

directIO メソッド

形式 **void directIO(int command, int[] data, Object object)** throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

open メソッド

形式 **void open(String logicalDeviceName)** throws **JposException**;

*logicalDeviceName*パラメータは、オープンする論理デバイス名を指定します。
登録されているCashDrawerデバイスの論理名を指定して実行してください。

説明 デバイスをオープンします。
openメソッドが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

release メソッド

形式 **void release()** throws **JposException**;

説明 デバイスの排他アクセスを解除します。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

resetStatistics メソッド

形式 **void resetStatistics**(String *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

retrieveStatistics メソッド

形式 **void retrieveStatistics**(String[] *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

updateFirmware メソッド

形式 **void updateFirmware**(String *firmwareFileName*) throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

updateStatistics メソッド

形式 **void updateStatistics**(String *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明 本メソッドはサポートしていません。

5.2.4 専用メソッド

openDrawer メソッド

形式 **void openDrawer()** throws **JposException**;

説明 ドロワを開けます。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

waitForDrawerClose メソッド

形式 **void waitForDrawerClose(int beepTimeout, int beepFrequency, int beepDuration, int beepDelay)** throws **JposException**;

説明 ドロワが閉じられるまで待ちます。
本メソッドは**DrawerOpened**プロパティがfalseになるかプリンタの電源OFFが検知されるまで、アプリケーションに制御を戻しません。
警告ビープ音はサポートしていません。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

5.2.5 イベント

DirectIOEvent イベント

インターフェース `jpos.events.DirectIOListener`

形式 `directIOOccurred(DirectIOEvent e);`

説明 本イベントはサポートしていません。

StatusUpdateEvent イベント

インターフェース `jpos.events.StatusUpdateListener`

形式 `statusUpdateOccurred(StatusUpdateEvent e);`

StatusUpdateEventは次のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
<i>Status</i>	int	ドロワの状態。

Status プロパティは次の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
CASH_SUE_DRAWERCLOSED (0)	ドロワは閉じています。
CASH_SUE_DRAWEROPEN (1)	ドロワは開いています。
JPOS_SUE_POWER_ONLINE (2001) *	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
JPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE (2004) *	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

*: **PowerNotify** = **JPOS_PN_ENABLED** (1) の場合に通知されます。

説明 デバイス側に重要な状態の変化が起こった時にデバイスの状態を通知します。
デバイスがイネーブルになったとき、Cash Drawerクラスは最初の**StatusUpdateEvent**を通知します。

付録 A 例外

A.1 POSPrinter

A.1.1 共通プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapCompareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapPowerReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapStatisticsReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapUpdateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapUpdateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CheckHealthText	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
Claimed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceEnabled	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
FreezeEvents	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
OutputID	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。

プロパティ	ErrorCode	意味
PowerNotify	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のどちらかの状態です。 ・プロパティの設定範囲が不正です。 ・ DeviceEnabled プロパティがtrueです。
PowerState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceServiceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceServiceVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PhysicalDeviceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PhysicalDeviceName	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。

A. 1. 2 専用プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
AsyncMode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapConcurrentJrnRec	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapConcurrentJrnSlp	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapConcurrentPageMode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapConcurrentRecSlp	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapCoverSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrn2Color	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnBold	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnColor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnDwide	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnEmptySensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnItalic	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnPresent	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapJrnUnderline	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapMapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRec2Color	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecBarCode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecBitmap	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CapRecBold	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecColor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecDwide	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecEmptySensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecItalic	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecLeft90	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecMarkFeed	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecPageMode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecPapercut	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecPresent	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecRight90	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecRotate180	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecRuledLine	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecStamp	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapRecUnderline	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlp2Color	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpBarCode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpBitmap	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpBold	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpBothSidesPrint	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CapSlpCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpColor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpDwide	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpEmptySensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpFullslip	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpItalic	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpLeft90	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpPageMode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpPresent	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpRight90	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpRotate180	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpRuledLine	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapSlpUnderline	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CapTransaction	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
CartridgeNotify	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	サポートされていない操作を実行しようとしてしました。
CharacterSet	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効なパラメータが指定されました。
CharacterSetList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CoverOpen	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
ErrorLevel	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
ErrorStation	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
ErrorString	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
FlagWhenIdle	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
FontTypefaceList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
JrnCartridgeState	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
JrnCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnEmpty	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
JrnLetterQuality	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineChars	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。

プロパティ	ErrorCode	意味
JrnLineCharsList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
JrnLineHeight	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineSpacing	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineWidth	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
JrnNearEnd	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
MapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	サポートされていない操作を実行しようとしてしました。
MapMode	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効な操作を実行しようとしてしました。
PageModeArea	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
PageModeDescriptor	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
PageModeHorizontalPosition	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・PageModeStationプロパティに有効なステーションが指定されていません。

プロパティ	ErrorCode	意味
PageModePrintArea	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・ PageModeStation プロパティに有効なステーションが指定されていません。
PageModePrintDirection	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・無効な操作を実行しようとしてしました。 ・ PageModeStation プロパティに有効なステーションが指定されていません。
PageModeStation	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	サポートされていない操作を実行しようとしてしました。
PageModeVerticalPosition	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・ PageModeStation プロパティに有効なステーションが指定されていません。
RecBarCodeRotationList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
RecBitmapRotationList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
RecCartridgeState	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
RecCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	サポートされていない操作を実行しようとしてしました。
RecEmpty	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecLetterQuality	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
RecLineChars	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLineCharsList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
RecLineHeight	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLineSpacing	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLinesToPaperCut	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecLineWidth	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecNearEnd	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecSidewaysMaxChars	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
RecSidewaysMaxLines	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RotateSpecial	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	無効な操作を実行しようとしてしました。
SlpBarCodeRotationList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
SlpBitmapRotationList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
SlpCartridgeState	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
SlpCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpEmpty	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpLetterQuality	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineChars	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineCharsList	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
SlpLineHeight	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLinesNearEndToEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpLineSpacing	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineWidth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpMaxLines	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpNearEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpPrintSide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
SlpSidewaysMaxChars	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpSidewaysMaxLines	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

A.1.3 共通メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
checkHealth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	<i>level</i> にJPOS_CH_INTERNAL(1)、JPOS_CH_EXTERNAL(2)、JPOS_CH_INTERACTIVE(3)以外の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
claim	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	<i>timeout</i> に-2以下の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが <i>Timeout</i> 時間（ミリ秒）が過ぎました。または、 <i>Timeout</i> 時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
clearOutput	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
close	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
compareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
directIO	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
open	JPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	指定された <i>logicalDeviceName</i> が見つかりません。
release	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。

メソッド	ErrorCode	意味
resetStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	指定されたスタティスティックスのうち一つが未定義またはリセット不可能です。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=280 指定されたスタティスティックスの1つ以上がリセットできませんでした。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
retrieveStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	指定されたスタティスティックスのうち一つが未定義です。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=280 指定されたスタティスティックスの1つ以上が取得できませんでした。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
updateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

A. 1. 4 専用メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
beginInsertion	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	本メソッドはサポートしていません。
beginRemoval	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	本メソッドはサポートしていません。
changePrintSide	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	本メソッドはサポートしていません。
clearPrintArea	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 • PageModeStationプロパティに有効なステーションが指定されていません。 • pageModePrintメソッドによるページモード中のみ本メソッドは実行可能です。

メソッド	ErrorCode	意味
cutPaper	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のどちらかの状態です。 ・ <i>percentage</i> に0～100以外の値が指定されました。 ・ rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
drawRuledLine	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
endInsertion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
endRemoval	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

メソッド	ErrorCode	意味
markFeed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
pageModePrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 • controlにPTR_PM_PAGE_MODE(1)、PTR_PM_PAGE_SAVE(2)、PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)以外の値が指定されました。 • controlにPTR_PM_PAGE_MODE(1)が指定される前にPTR_PM_PAGE_SAVE(2)、PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)のいずれかの値が指定されました。 • PageModeStationプロパティに有効なステーションが指定されていません。 • rotatePrintメソッドによる左右90度回転中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printBarCode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 ・ <i>station</i>にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・ <i>data</i>に無効な値が指定されました。 ・ <i>symbology</i>に無効な値が指定されました。 ・ <i>height</i>に1～255以外の値が指定されました。 ・ <i>width</i>に無効な値が指定されました。 ・ <i>alignment</i>に無効な値が指定されました。 ・ <i>textPosition</i>に PTR_BC_TEXT_NONE(-11)、PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)、PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)以外の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorcodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorcodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorcodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorcodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printBitmap	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のいずれかの状態です。 ・ <i>station</i> に PTR_S_RECEIPT (2) 以外の値が指定されました。 ・ <i>width</i> に無効な値が指定されました。 ・ <i>alignment</i> に無効な値が指定されました。 ・ 指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 ・ 指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE (107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_NOEXIST (109)	<i>fileName</i> で指定されたファイルが見つかりませんでした。
	JPOS_E_FAILURE (111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED (114)	ErrorcodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorcodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorcodeExtended =206 以下のどちらかの状態です。 ・ ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 ・ ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorcodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorcodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorcodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printImmediate	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・ <i>station</i> に PTR_S_RECEIPT (2) 以外の値が指定されました。 ・ <i>data</i> に無効な値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE (107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE (111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY (113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED (114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printMemoryBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 ・ <i>station</i> に PTR_S_RECEIPT (2) 以外の値が指定されました。 ・ <i>width</i> に無効な値が指定されました。 ・ <i>alignment</i> に無効な値が指定されました。 ・ 指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 ・ 指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorcodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorcodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorcodeExtended =206 以下のどちらかの状態です。 ・ ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 ・ ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorcodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorcodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorcodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorcodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printNormal	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	以下のどちらかの状態です。 ・ <i>station</i> に PTR_S_RECEIPT (2) 以外の値が指定されました。 ・ <i>data</i> に無効な値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE (107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE (111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED (114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
printTwoNormal	JPOS_E_CLOSED (101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED (103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED (105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL (106)	本メソッドはサポートしていません。

メソッド	ErrorCode	意味
rotatePrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 • <i>station</i>にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 • <i>rotation</i>に無効な値が指定されました。 • pageModePrintメソッドによるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
setBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 • <i>bitmapNumber</i>に1～20以外の値が指定されました。 • <i>station</i>にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 • <i>width</i>に無効な値が指定されました。 • <i>alignment</i>に無効な値が指定されました。 • 指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 • 指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	<i>fileName</i> で指定されたファイルが見つかりませんでした。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
setLogo	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended =206 以下のどちらかの状態です。 • ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 • ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorCodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカットエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1009 プリンタのユーザ領域にイメージを登録するための領域がありません。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のどちらかの状態です。 • <i>location</i>にPTR_L_TOP(1)またはPTR_L_BOTTOM(2)以外の値が指定されました。 • <i>data</i>に"ESC tL"または"ESC bL"が含まれています。

メソッド	ErrorCode	意味
transactionPrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のいずれかの状態です。 ・ stationにPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・ controlにPTR_TP_TRANSACTION(11)またはPTR_TP_NORMAL(12)以外の値が指定されました。 ・ rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、及びpageModePrintメソッドによるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
validateData	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記表参照。
	JPOS_E_FAILURE(111)	下記表参照。

A.1.5 エスケープシーケンス

(1) validateDataメソッドにおいてJPOS_E_ILLEGAL (106) がスローされるケース

エスケープシーケンス	意味
用紙カット	以下のどちらかの状態です。 ・パーセンテージ' #' は正確にサポートされていません。 ・rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、及びpageModePrintメソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
フィードと用紙カット	以下のどちらかの状態です。 ・パーセンテージ' #' は正確にサポートされていません。 ・rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、及びpageModePrintメソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
複数行フィード	以下のどちらかの状態です。 ・行数' #' が正しくありません。 ・rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、及びpageModePrintメソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
単位フィード	以下のいずれかの状態です。 ・フィード量' #' はMapModeプロパティの設定によっては1ドット分の丸め誤差が発生するため正確にはサポートされていません。 ・フィード量' #' が正しくありません。 ・rotatePrintメソッドによる左右90度回転中、及びpageModePrintメソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
埋め込みデータの送信	埋め込みデータのバイト数' #' が正しくありません。
バーコード印刷	以下のどちらかの状態です。 ・バーコードデータのバイト数' #' が正しくありません。 ・ESC #Rに続く文字列に不正な値が含まれています。
アンダーライン	太さ' #' が正しくありません。
縦倍率	倍率' #' が正しくありません。
横倍率	倍率' #' が正しくありません。
左寄せ	rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
中央揃え	rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
右寄せ	rotatePrint メソッドによる左右90度回転中、及び pageModePrint メソッドによるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。

(2) validateDataメソッドにおいてJPOS_E_FAILURE(111)がスローされるケース

エスケープシーケンス	意味
フィードとカットとスタンプ印刷	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ビットマップ番号' #'が正しくありません。
スタンプ印刷	サポートしていません。
逆フィード	サポートしていません。
罫線印刷	サポートしていません。
フォントタイプ指定	サポートしていません。
イタリック	サポートしていません。
カスタムカラー	サポートしていません。
網掛け文字	サポートしていません。
色指定	サポートしていません。
サブ スクリプト	サポートしていません。
スーパー スクリプト	サポートしていません。
取り消し線	サポートしていません。

A.2 CashDrawer

A.2.1 共通プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapCompareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapPowerReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapStatisticsReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapUpdateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapUpdateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CheckHealthText	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
Claimed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceEnabled	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
FreezeEvents	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PowerNotify	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のどちらかの状態です。 ・プロパティの設定範囲が不正です。 ・ DeviceEnabled プロパティがtrueです。
PowerState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceServiceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DeviceServiceVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PhysicalDeviceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PhysicalDeviceName	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。

A. 2. 2 専用プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapStatus	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
CapStatusMultiDrawerDetect	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
DrawerOpened	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

A. 2. 3 共通メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
checkHealth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	<i>level</i> にJPOS_CH_INTERNAL(1)、JPOS_CH_EXTERNAL(2)、JPOS_CH_INTERACTIVE(3)以外の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
claim	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	<i>timeout</i> に-2以下の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが <i>timeout</i> 時間（ミリ秒）が過ぎました。または、 <i>timeout</i> 時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
close	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
compareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
directIO	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
open	JPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	指定された <i>logicalDeviceName</i> が見つかりません。

メソッド	ErrorCode	意味
release	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
resetStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
retrieveStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。 claim メソッドを実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

A. 2. 4 専用メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
openDrawer	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
waitForDrawerClose	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしてしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

付録 B Statistics

B.1 Upos で定義された Statistic

XML 定義名	応答内容	リセット可否
UnifiedPOSVersion	1.13	－
DeviceCategory	"POSPrinter"	－
ManufacturerName	"Seiko Instruments Inc."	－
ModelName	"RP-D10"*1	－
	"RP-E10"*2	
SerialNumber	"Unknown"	－
ManufactureDate	"Unknown"	－
MechanicalRevision	"1C"*1	－
	"1A"*2	
FirmwareRevision	ファームウェアバージョン	－
Interface	"Unknown"	－
InstallationDate	"Unknown"	－
HoursPoweredCount	製品の駆動時間 (単位：時間)	✓
CommunicationErrorCount	0	－
BarcodePrintedCount	0	－
FormInsertionCount	0	－
HomeErrorCount	0	－
JournalCharacterPrintedCount	0	－
JournalLinePrintedCount	0	－
MaximumTempReachedCount	0	－
NVRAMWriteCount	0	－
PaperCutCount	オートカット駆動回数	✓
FailedPaperCutCount	0	－

XML 定義名	応答内容	リセット可否
PrinterFaultCount	0	－
PrintSideChangeCount	0	－
FailedPrintSideChangeCount	0	－
ReceiptCharacterPrintedCount	0	－
ReceiptLinePrintedCount	0	－
ReceiptLineFeedCount	レシート紙送り行数 (単位：100ドットライン)	✓
ReceiptCoverOpenCount	0	－
SlipCharacterPrintedCount	0	
SlipLinePrintedCount	0	－
SlipLineFeedCount	0	－
SlipCoverOpenCount	0	－
StampFiredCount	0	－

*1: RP-D10の場合

*2: RP-E10の場合

B.2 Manufacturer で定義された Statistic

XML 定義名	応答内容	リセット可否
HoursPoweredCount_Accumulated	製品の駆動時間 (単位：時間) (積算)	－
PaperCutCount_Accumulated	オートカッタ駆動回数 (積算)	－
ReceiptLineFeedCount_Accumulated	紙送り行数 (単位：100ドットライン) (積算)	－